

【別紙1】納品物一覧

《納品：データ納品（正・副）、紙媒体一式》

《納品時の注意事項》

納品物時には、必ず納品物の目次（フォルダ構成および各フォルダ内に格納されているファイル構成）が確認できる一覧表を添付すること。

工程	納品物	納品期限
プロジェクト計画	プロジェクト計画書	各年度の委託料に基づき、本市と受託業者との協議のうえ、納品期限の詳細を決定するものとする。
要件定義 業務運用設計	業務運用設計書（仮称）	
システムテスト	システムテスト計画書	
	システムテスト結果報告書	
運用テスト	運用テスト計画書	
	運用テスト実施手順書	
	運用テスト結果報告書	
移行	移行計画書	
	移行設計書	
	移行テスト計画書	
	移行テスト結果報告書	
	移行手順書	
	移行リハーサル結果報告書	
説明会・研修等	研修計画書	
	各種研修関連資料	
	各種マニュアル	
リリース（本番）	リリース計画書	
	リリース手順書	
	稼働最終結果報告書	
端末機器	手順書	
	端末セットアップ用媒体	
導入工程その他	議事録	
	進捗報告書	
	課題管理表	
	各種個別検討資料	
	他課との調整資料	
	セキュリティ実施手順書	

工程	納品物	納品期限
安定稼働判定期間	プロジェクト計画書	令和9年3月末日を納品期限とする。 なお、詳細については、本市と受託業者との協議の うえ、納品期限の詳細を決定するものとする。
	作業計画書	
	作業報告書	
	進捗報告書	
	課題管理表	
	問合せ対応関連ドキュメント	
	作業依頼対応関連ドキュメント	
	課題管理・検討関連ドキュメント	
	資産配布作業関連ドキュメント	
	障害時対応関連ドキュメント	
	その他作業関連ドキュメント	
	SLA関連ドキュメント	
	議事録	
	各種会議資料	
その他	データ消去証明書及び作業報告書	

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
1 管理項目					
1	0170001	児童生徒データの管理	実装必須機能	児童生徒の情報について、以下の項目を管理(※)又は住民記録システムから取得できること。 ※「管理」とは、データの設定・保持・修正ができることをいう。 【学校教育法施行規則第30条に記載の項目】 ・児童生徒氏名(外国籍を有する場合は外国人氏名英字、外国人氏名漢字及び通称名をそれぞれ管理) ・児童生徒の現住所 ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 【学校教育法施行規則第30条に記載以外のその他項目】 ・児童生徒宛名番号 (個人を識別するための番号、名寄せを行う際に必要) ・児童生徒氏名の振り仮名(フリガナ)(外国籍を有する場合は外国人氏名のフリガナ及び通称名のフリガナをそれぞれ管理) ・児童生徒通称名 ・児童生徒通称名のフリガナ ・児童生徒国籍 ・児童生徒郵便番号	○
2	0170002	児童生徒データの管理	実装必須機能	外国籍を有する児童生徒を管理でき、日本国籍を有する児童生徒と同様に、新入学処理及び異動処理ができること。	○
3	0170003	児童生徒データの管理	実装必須機能	また、外国籍を有する児童生徒の外国人氏名英字、外国人氏名漢字及び通称名を管理できること。	○
4	0170004	児童生徒データの管理	実装必須機能	外国籍を有する児童生徒の氏名文字数に対応すること。	○
5	0170005	児童生徒データの管理	標準オプション機能	児童生徒の情報について、以下の項目を管理又は住民記録システムから取得できること。 ・児童生徒前住所 ・児童の住所コード ・児童の行政区(地域、地区、自治会)コード ・世帯番号 ・世帯主宛名番号(個人を識別するための番号) ・世帯主氏名 ・世帯主氏名の振り仮名(フリガナ) ・居所(現住所と違う場合に使用) ・居所不明状況 ・居所不明年月日 ※居所不明状況、居所不明年月日は、1年以上居所不明者である場合	○
7	0170007	保護者データの管理	実装必須機能	保護者に関する情報について、以下の項目を管理又は住民記録システムから取得できること。 【学校教育法施行規則第30条に記載の項目】 ・保護者氏名(外国籍を有する場合は外国人氏名英字、外国人氏名漢字及び通称名をそれぞれ管理) ・保護者の現住所 ・保護者と児童生徒との関係(児童生徒に対する保護者の続柄を管理 例:父、母など) 【学校教育法施行規則第30条に記載以外のその他項目】 ・保護者宛名番号(個人を識別するための番号) ・保護者氏名の振り仮名(フリガナ)(外国籍を有する場合は外国人氏名フリガナ及び通称名のフリガナをそれぞれ管理) ・保護者国籍 ・保護者郵便番号 ・保護者電話番号又は携帯番号 ・保護者送付先情報	○
8	0170008	保護者データの管理	実装必須機能	外国籍を有する保護者を管理できること。	○
9	0170009	保護者データの管理	実装必須機能	また、外国籍を有する保護者の外国人氏名英字、外国人氏名漢字及び通称名を管理できること。	○
10	0170010	保護者データの管理	実装必須機能	外国籍を有する保護者の氏名文字数に対応すること。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
11	0170011	保護者データの管理	標準オプション機能	保護者に関する情報について、以下の項目を管理又は住民記録システムから取得できること。 ・保護者のメールアドレス ・保護者通称名 ・保護者通称名のフリガナ ・保護者の住所コード ・保護者の行政区（地域、地区、自治会）コード ・保護者性別 ・身元引受人宛名番号（個人を識別するための番号） ・身元引受人氏名 ・身元引受人振り仮名（フリガナ） ・身元引受人住所 ・身元引受人電話番号又は携帯番号 ・身元引受人児童生徒との関係（児童生徒に対する身元引受人の続柄を管理 例：父、母など） ・身元引受人のメールアドレス	○
12	0170013	市町村内学校関連データの管理	実装必須機能	市町村内学校関連情報について、以下の項目を管理できること。 【学校教育法施行規則第30条に記載の項目】 ・就学校名 ・学校入学年月日 ・学校編入学年月日 ・学校転学年月日 ・学校卒業年月日 ※就学校名、学校入学年月日、学校編入学年月日、学校転学年月日、学校卒業年月日は、小学校・中学校等の記載欄が必要。 【学校教育法施行規則第30条に記載以外のその他項目】 ・指定小学校区（住所から判別されるものを管理） ・指定中学校区（住所から判別されるものを管理） ・就学指定校名（学校区から判別されるものを管理） ・退学年月日 ※就学指定校名、退学年月日は、小学校・中学校等の記載欄が必要。 ・学級区分（通常学級、特別支援学級） ・学年 ※義務教育学校の場合は、中学校1～3年相当学年を7～9と表示できること。	○
13	0170014	市町村内学校関連データの管理	実装必須機能	就学前児童の仮データの登録ができ、管理できること。	○
14	0170015	市町村内学校関連データの管理	実装必須機能	また、新中学校1年生についての仮データの登録ができ、対象児童が小学校6年生時に仮データとの共存を可能とすること。	○
15	0170016	市町村内学校関連データの管理	実装必須機能	市町村内学校関連情報について、以下の項目を管理できること。 ・就学校変更事由 ・就学校変更申請年月日 ・就学校変更許可年月日 ・就学校変更開始年月日 ・就学校変更終了年月日 ※義務教育学校の場合は、小1相当から中3相当まで最大9年間で設定できること。	○
16	0170017	市町村内学校関連データの管理	実装必須機能	市町村内学校関連情報について、以下の項目を管理できること。 ・原級留置に関する事項 例） 原級留置決定年月日 原級留置開始年月日 原級留置終了年月日 原級留置理由 ・不就学情報 例） 不就学開始年月日 不就学終了年月日 不就学理由 ・副籍校名（特別支援学校就学時のみ使用） ・転入前学校	○
17	0170018	市町村内学校関連データの管理	標準オプション機能	市町村内学校関連情報について、以下の項目を管理できること。 ・就学援助有無 ・転出先学校 ・クラス ・出席番号 ・学籍番号 ・就学校変更区分 ・就学校変更不許可理由 ・就学校変更開始学年 ・希望就学校名（学校選択制導入自治体のみ使用、選択希望校を管理） ・希望就学校受付年月日（学校選択制導入自治体のみ使用）	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
18	0170019	区域外学校関連データの管理	実装必須機能	区域外学校情報について、以下の項目を管理すること。 【学校教育法施行規則第30条に記載の項目】 ・就学校名 ・設置者名 ・学校入学年月日 ・学校編入学年月日 ・学校転学年月日 ・学校卒業年月日 ・学校退学年月日 ※就学校名、設置者名、学校入学年月日、学校編入学年月日、学校転学年月日、学校卒業年月日、学校退学年月日は、小学校・中学校等の記載欄が必要。 【学校教育法施行規則第30条に記載以外のその他項目】 ・区域外就学事由 ・区域外就学申請年月日 ・区域外就学許可年月日 ・区域外就学開始年月日 ・区域外就学終了年月日	○
19	0170020	区域外学校関連データの管理	標準オプション機能	区域外学校情報について、以下の項目を管理すること。 ・区域外就学区分 ・区域外就学不許可理由 ・区域外就学開始学年	○
20	0170021	特別支援学校関連データの管理	実装必須機能	特別支援学校情報について、以下の項目を管理すること。 【学校教育法施行規則第30条に記載の項目】 ・就学校名 ・部名（特別支援学校就学時のみ使用） ・設置者名 ・学校入学年月日 ・学校編入学年月日 ・学校転学年月日 ・学校卒業年月日 ・学校退学年月日 ※就学校名、設置者名、学校入学年月日、学校編入学年月日、学校転学年月日、学校卒業年月日、学校退学年月日は、小学校・中学校等の記載欄が必要。	○
21	0170023	督促関連データの管理	実装必須機能	督促情報について、以下の項目を管理すること。 【学校教育法施行規則第30条に記載の項目】 ・校長からの通知受理年月日 ・就学督促年月日	○
22	0170024	督促関連データの管理	標準オプション機能	督促情報について、以下の項目を管理すること。 ・就学督促事由	○
23	0170025	猶予・免除関連データの管理	実装必須機能	猶予・免除に関する情報について、以下の項目を管理すること。当管理項目は、「1.1.3 市町村内学校関連データの管理」の不就学情報のうち、猶予・免除に関する情報を管理するものとする。 【学校教育法施行規則第30条に記載の項目】 ・就学猶予年月日 ・就学猶予事由 ・就学猶予開始年月日 ・就学猶予終了年月日 ・就学猶予復学年月日 ・就学免除年月日 ・就学免除事由 ・就学免除開始年月日 ・就学免除終了年月日 ・就学免除復学年月日 【学校教育法施行規則第30条に記載以外のその他項目】 ・猶予・免除されていた年数	○
24	0170026	学齢簿変更関連データの管理	実装必須機能	学齢簿の変更が発生する場合において、以下の項目を管理すること。 【学校教育法施行規則第30条に記載以外のその他項目】 ・学齢簿変更届出年月日 ・学齢簿変更年月日 ・学齢簿変更事由	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
25	0170028	支援措置対象者関連データの管理	実装必須機能	DV／ストーカー等の支援措置対象者情報について、以下の項目を管理すること。 【学校教育法施行規則第30条に記載以外のその他項目】 ・支援措置対象者情報	○
26	0170029	支援措置対象者関連データの管理	実装必須機能	住民記録情報の内容を参照し把握でき、就学事務独自の該当者の管理(例:フラグ管理)が行えることとする。また、DV／ストーカー等の支援措置対象者情報を画面照会した場合は、該当者(世帯員を含め)である旨に気づけること。	○
27	0170030	備考関連データの管理	実装必須機能	備考について、以下の項目を管理すること。 【学校教育法施行規則第30条に記載の項目】 ・備考	○
28	0170031	備考関連データの管理	実装必須機能	備考に登録された内容は照会でき、新年度に切り替わっても内容は引き継がれること。	○
29	0170032	メモ関連データの管理	実装必須機能	メモについて、以下の項目を管理すること。 【学校教育法施行規則第30条に記載以外のその他項目】 ・メモ	○
30	0170033	メモ関連データの管理	実装必須機能	メモは個人を単位とし、記載事項を限定しないメモ入力が可能であること。	○
31	0170034	メモ関連データの管理	実装必須機能	メモを入力した者のユーザID及び日時が記録されること。	○
32	0170035	メモ関連データの管理	実装必須機能	メモ入力されたものについては、通知書や学齢簿等の外部向け帳票に出力されないこと。	○
33	0170036	メモ関連データの管理	実装必須機能	また、メモ登録されている対象者を画面照会した場合は、メモがある旨に気づけること。	○
34	0170037	メモ関連データの管理	標準オプション機能	メモの修正・削除について履歴管理されること。	○
35	0170040	データ変更記録の管理	実装必須機能	1.1(学齢簿関連データ)に規定する変更記録は、以下の項目を管理すること。 ・異動者 ・異動日 ・処理日 ・届出日 ・入力場所 ・入力端末	○
36	0170041	データ変更記録の管理	実装必須機能	また、変更したデータ自体については、以下のとおり、時点ごとに全項目の履歴データを持つ方式により管理すること。 ・学齢簿に記載する各項目を1列とし、全項目を1行で保持する。 ・データキーは、児童生徒宛名番号と履歴番号でユニークとする。履歴番号は1からの単純連番とする。 ・履歴は、データキーの履歴番号をカウントアップし、項目内容の変更有無に係わらず、全項目の内容を保持する。 ・履歴番号が最大のデータを1件セレクトすることで、その個人の直近データの全項目を取得する。	○
37	0170043	入力場所・入力端末	実装必須機能	システムログや通知書発行管理に使用するため、就学事務システム(学齢簿編製等)を使用する場所として、本庁、支所、出張所、就学事務システム(学齢簿編製等)利用課等の入力場所及び入力端末等の登録管理ができること。	○
38	0170044	入力場所・入力端末	実装必須機能	指定都市においては、行政区(総合区を設置している場合は総合区。以下同じ。)(区役所)を管理できること。	○
39	0170046	公印管理	実装必須機能	公印管理(教育長及び職務代理者等の公印が管理できる)ができること。	○
40	0170047	認証者	実装必須機能	通知書等の認証者は、教育長及び職務代理者等について、職名・氏名の管理ができること。	○
41	0170048	認証者	実装必須機能	また、期間等事前に登録した条件によって、自動的に切り替わることができるよう職務代理者期間の管理ができること。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
42	0170049	通知書発行履歴の管理	実装必須機能	1.1(学齢簿関連データの管理)に規定する通知書の通知書発行履歴は、以下の項目を管理すること。 ・通知年月日時 ・通知場所 ・通知対象者(児童生徒及び保護者を管理) ・通知書の種別 ・枚数 ・文書番号 ・端末名、ユーザID	○
43	0170050	学区管理	実装必須機能	住所による学区の自動設定ができること。	○
44	0170051	学区管理	実装必須機能	当該児童生徒の現住所が入力されると学区の設定により自動で就学指定校が選択されること。	○
45	0170052	学校の新設・統廃合	実装必須機能	新設校・廃校の設定ができること。	○
46	0170053	学校の新設・統廃合	実装必須機能	新設校・廃校による学区の設定ができること。	○
47	0170054	コード・パラメータ管理	実装必須機能	以下の項目について、コードと名称を任意に設定し編集できること。 ただし、基本データリスト(学齢簿編製)のコード一覧(個別)に定義しているものは、任意の追加・名称変更・削除は行わないこと。 ・保護者と児童生徒との関係(児童生徒に対する保護者の続柄を管理 例:父、母など) ・性別 ・国籍 ・学年 ・小、中学校区 ・学校選択制の範囲 ・学校名、学校管轄区分、設置者名、学校住所、学校電話番号 ・学級区分 ・学齢簿変更事由 ・就学校変更事由 ・区域外就学事由 ・就学猶予事由 ・就学免除事由 ・不就学理由 ・原級留置理由	○
48	0170056	コード・パラメータ管理	標準オプション機能	以下の項目について、コードと名称を任意に設定し編集できること。 ・就学校変更区分 ・区域外就学区分 ・支援措置対象者区分	○
49	0170057	コード・パラメータ管理	標準オプション機能	学校コードについては、文部科学省が公開している学校コード一覧を取り込み、最新化できること。	○
50	0170058	帳票管理	実装必須機能	以下の保護者宛て通知書等の印字内容をマスタ管理し、任意に設定し編集できること。 ・帳票タイトル ・通知文 ・特記事項 ・様式番号 ・公印有無 ・公印の種類の設定(教育長印、職務代理者印、教育委員会印など) ・認証者肩書 ・認証者	○
51	0170397	帳票管理	実装必須機能	公印については、認証者と合わせて保護者宛て通知書等ごとに設定可能であること。	○
52	0170059	健康診断通知書管理	実装必須機能	健康診断の実施情報について、学校ごとに以下の項目を管理し、健康診断通知に印字できること。 ・実施日時 ・実施場所 ・受付開始／終了時間	○
53	0170446	健康診断通知書管理	標準オプション機能	学校ごとの健康診断の実施情報(実施日時、実施場所、受付開始／終了時間)を管理するに当たり、CSV形式による一括更新ができること。 更新結果の確認のため、CSV形式での一括出力ができること。	

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
54	0170060	入学通知書管理	実装必須機能	学校ごとに以下の項目を管理し、小学校入学通知書及び中学校入学通知書に印字できること。 ・入学期日 ・入学式年月日 ・入学式開始時間 ・受付開始／終了時間 ・特記事項	○
2 検索・照会・操作					
55	0170063	検索文字入力	実装必須機能	氏名に関する検索は、住民記録システム標準仕様書に準拠した「あいまい検索」（異体字や正字も包含した検索を除く。）ができること。	○
56	0170064	基本検索	実装必須機能	氏名（漢字・アルファベットを含む）・指名の振り仮名（フリガナ）・生年月日（西暦・和暦）・性別・住所・宛名番号・世帯番号・就学校名・学年から検索できること。	○
57	0170065	基本検索	実装必須機能	外国人の場合は、外国人氏名英字、外国人氏名漢字、通称名のいずれでも検索できること。	○
58	0170066	基本検索	実装必須機能	上記項目に関し、未就学児・児童生徒・保護者（保護者の場合は、就学校名、学年を除く）によらず検索ができ、複数項目による複合検索もできること。	○
59	0170067	基本検索	実装必須機能	外字検索、検索文字選択のためのサポート機能が提供されていること。具体的には外字を選択するための手書き入力、手書き入力による文字選択等が想定されるが、具体的な実装方法は規定しない。	○
60	0170068	基本検索	実装必須機能	また、西暦と和暦はそれぞれ対応する年に置き換えた検索ができること。	○
61	0170069	基本検索	実装必須機能	検索により該当した情報の一覧表示できること。	○
62	0170070	基本検索	実装必須機能	検索結果が設定件数を超えるとメッセージが表示されること。	○
63	0170071	基本検索	実装必須機能	過去の検索結果履歴から選択することにより対象者の照会ができること。	○
64	0170075	基本検索	標準オプション機能	就学校変更の許可期限が終了する児童生徒を検索できること。	○
65	0170077	基本検索	標準オプション機能	検索により該当した情報を選択した場合、該当者の属する世帯構成員の一覧表示ができること。	○
66	0170080	学齢簿照会	実装必須機能	個人を特定した後に、入学前、就学中、卒業、不就学等に関わらず該当者の学齢簿情報（1.1（学齢簿関連データで管理の情報））を照会できること。	○
67	0170081	学齢簿照会	実装必須機能	学齢簿の状態（入学前、就学中、卒業、不就学等）が明示されること。	○
68	0170082	学齢簿照会	実装必須機能	就学校と学区が違う場合は、明示されること。	○
69	0170083	学齢簿照会	実装必須機能	兄弟姉妹の照会を切替えられること。	○
70	0170086	世帯員照会	実装必須機能	学齢簿の登録において、該当の児童生徒の世帯構成が一覧で参照できること。	○
71	0170087	世帯員照会	実装必須機能	また、海外に転出した場合の確認及び住民基本台帳の抹消状況が確認できること。	○
72	0170088	異動履歴照会	実装必須機能	個人を特定した後に、1.2.1（データ変更記録の管理）に規定する児童生徒の異動履歴を一覧形式で照会できること。	○
73	0170089	異動履歴照会	実装必須機能	また、異動履歴一覧から選択した時点の学齢簿情報を照会できること。	○
74	0170090	通知書発行履歴照会	実装必須機能	個人を特定した後に、1.2.6（通知書発行履歴の管理）に規定する通知書の発行履歴について、照会できること。	○
75	0170091	漢字文字の照会等	実装必須機能	漢字文字（氏名及び住所）の照会については、拡大して照会ができること。	○
76	0170093	支援措置対象者照会	実装必須機能	照会した該当者の学齢簿情報を確認する場合において、支援措置対象者である旨が明示的に確認できるとともに、支援措置責任者の了承を得て又は支援措置責任者のみが、1.1.9（支援措置対象者関連データの管理）に規定する支援措置対象者の詳細情報を確認できること。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
77	0170094	支援措置対象者照会	実装必須機能	通知書等を即時発行及び一括発行する際は、支援措置対象者の住所を非表示にする制御が可能であること。	○
78	0170095	支援措置対象者照会	実装必須機能	また、通知書等の発送者一覧は、支援措置対象者である旨が明示的に確認できること。	○
3 抑止設定					
79	0170098	異動・発行・照会抑止	実装必須機能	支援措置対象者に対する抑止、操作権限管理(7.3参照)に記載の排他制御に対する抑止、その他の抑止を管理できること。	○
80	0170099	異動・発行・照会抑止	実装必須機能	住民記録システムに登録された支援措置対象者に対する抑止設定を参照し、異動入力・通知書発行、照会などの処理ごとに抑止(エラー、またはアラート)が表示されること。	○
81	0170100	異動・発行・照会抑止	実装必須機能	各抑止機能について、異動入力、通知書発行、照会などの処理ごとに、個人及び世帯単位で、抑止(エラーとして処理不可、アラート表示を行うが処理可又は特段の制御を行わず処理可)の開始日及び終了日設定が可能であること。	○
82	0170101	異動・発行・照会抑止	実装必須機能	抑止が終了していない者について、抑止の一時解除ができること。	○
83	0170102	異動・発行・照会抑止	実装必須機能	一時解除後、一定時間経過後に自動で抑止状態に戻ること。	○
84	0170103	異動・発行・照会抑止	実装必須機能	抑止状態に戻るまでの時間を設定できること。	○
85	0170104	異動・発行・照会抑止	実装必須機能	抑止・解除、又は一時解除できる権限は個別に設定できること。	○
86	0170105	異動・発行・照会抑止	実装必須機能	なお、抑止の終了日を経過しても、抑止は自動的に終了しないこと。	○
87	0170106	異動・発行・照会抑止	実装必須機能	検索結果の表示の際、抑止対象であることが明らかとなること。	○
88	0170107	異動・発行・照会抑止	実装必須機能	抑止については1名の者に対して複数設定することができ、設定ごとに、抑止する処理・抑止レベル(エラー・アラート)の設定ができること。	○
4 学齢簿管理					
89	0170108	新就学者一括登録	実装必須機能	新規就学者の学齢簿への記載の処理が行えること。	○
90	0170109	新就学者一括登録	実装必須機能	また、住民記録情報(日本国籍を有する者の住民データ・外国籍を有する者の住民データ)から記載事項を自動的に反映し、学齢簿に一括登録ができること。	○
91	0170110	新就学者一括登録	実装必須機能	ただし、住民登録外者など自動判定が不可能な場合は、各項目の登録も可能であること。	○
92	0170111	新就学者一括登録	実装必須機能	自動反映によるエラーや論理的には成立するが特に注意を要するものがある場合はアラートを表示し、権限者によって確認・修正・追記が行えること。	○
93	0170112	学区	実装必須機能	住民記録情報(日本国籍を有する者の住民データ・外国籍を有する者の住民データ)の住所コード、行政区(地域、地区、自治会)コード、番地から自動的に判断して学区が設定できること。	○
94	0170113	学区	実装必須機能	学区は小学校と中学校で区別して管理ができること。	○
95	0170114	学区	実装必須機能	また、自動的に判断した学区の変更ができ、自動的に判断できなかった学区については入力によって設定ができること。	○
96	0170115	保護者	実装必須機能	住民記録情報(日本国籍を有する者の住民データ・外国籍を有する者の住民データ)から自動的に判断して保護者が設定できること。	○
97	0170116	保護者	実装必須機能	ただし、同一世帯に保護者が存在しない場合の別世帯からの登録や外国籍を有する児童生徒の保護者も任意に設定が可能であること。	○
98	0170117	保護者	実装必須機能	なお、保護者認定申立による代理保護者が申請された場合も登録ができること。	○
99	0170118	保護者	実装必須機能	保護者が未設定である児童生徒に対し、手入力による登録を行うため、保護者警告チェックリストで確認ができること。	○
100	0170119	保護者	実装必須機能	また、全体チェック用として保護者情報チェック一覧表が出力できること。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
101	0170120	保護者	実装必須機能	保護者警告チェックリスト、保護者情報チェック一覧表は、全件を指定するか、異動日範囲や処理日範囲を抽出条件にを指定して出力できること。	○
102	0170121	保護者	実装必須機能	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	○
103	0170122	入学予定者の個別登録	実装必須機能	新就学者の一括登録とは別に、入学が予定されている児童生徒を学齢簿に登録ができること。	○
104	0170123	入学予定者の個別登録	実装必須機能	任意の学年を入力できること。	○
105	0170124	入学予定者の個別登録	実装必須機能	また、入力補助として生年月日から学年を自動算出し、設定ができること。	○
106	0170125	就学予定者の確認	実装必須機能	新就学者の一括登録後、小学校就学予定者一覧が出力できること。	○
107	0170126	入学確定処理	実装必須機能	小学校入学対象者に対して指定した入学年月日を一括登録できること。	○
108	0170127	入学確定処理	実装必須機能	ただし、入学予定者のうち転出等の異動があった場合は、入学確定処理は行わないこと。	○
109	0170128	学年	実装必須機能	住民記録情報（日本国籍を有する者の住民データ・外国籍を有する者の住民データ）の生年月日から自動的に判断して、学年が自動設定できること。	○
110	0170129	学年	実装必須機能	また、学齢簿側で入力された生年月日からでも学年の自動計算ができること。	○
111	0170130	小学校入学者名簿	実装必須機能	学校や学年を抽出条件に指定した小学校入学者名簿が作成・出力できること。	○
112	0170131	小学校入学者名簿	実装必須機能	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	○
113	0170132	小学校入学者名簿	実装必須機能	全件リストについては、XLSX形式又はCSV形式により出力できること。（EUC機能でも可）	○
114	0170133	転入者・編入者の異動	標準オプション機能	転入者の学齢簿は、住民記録情報の異動情報から自動的に作成できること。	○
115	0170396	転入者・編入者の異動	実装必須機能	編入者の学齢簿は、住民記録情報の異動情報からの自動作成でなく、個別に作成できること。	○
116	0170134	転入者・編入者の異動	実装必須機能	一括作成しない場合は対象者を一覧表示した後、該当者を選択することで個別に反映することができること。	○
117	0170135	転入者・編入者の異動	実装必須機能	また、住民記録情報の異動事由によって自動反映の有無を選択できること。 自動反映によらず個別での登録も可能とする。	○
118	0170136	転入者・編入者の異動	実装必須機能	異動時には保護者の自動設定、学区の自動設定、学年の自動設定ができ、履歴を作成すること。	○
119	0170137	転入者・編入者の異動	実装必須機能	また、機能ID:0170115～0170121に記載の内容について留意すること。	○
120	0170139	二重登録	標準オプション機能	再転入や帰化、住民登録外者から住民登録となった場合、過去の情報と新しい情報の2つのデータを同一人物としてチェックする機能を備え、二重登録と判断した場合は1つの学齢簿に統合することができること。	○
121	0170140	二重登録	標準オプション機能	また、同一人リストが出力できること。	○
122	0170141	転入学の通知	実装必須機能	児童生徒の転入があった場合、学齢簿の登録を行った後、転入学通知書又は入学通知書の出力ができること。	○
123	0170142	転入学の通知	実装必須機能	また、転入学通知書の出力は転入処理を行った窓口でも即時発行ができること。	○
124	0170143	転入学の通知	実装必須機能	また、就学指定校と就学校が相違した状態であっても強制的に転入学通知書が出力できること。	○
125	0170144	転入学の通知	実装必須機能	紛失等による保護者からの申出により、再発行も可能であること。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
126	0170147	住民基本台帳異動の自動反映	標準オプション機能	住民記録情報に異動があった場合、住民記録情報より自動で反映できること。	
127	0170148	住民基本台帳異動の自動反映	標準オプション機能	自動反映しない場合は対象者を一覧表示した後、該当者を選択することで個別に反映することができること。	○
128	0170149	住民基本台帳異動の自動反映	標準オプション機能	また、住民記録情報の異動事由によって自動反映の有無を選択できること。	
129	0170150	住民基本台帳異動の自動反映	標準オプション機能	異動時には保護者の自動設定、学区の自動設定ができ、履歴を作成すること。	○
130	0170151	住基異動者の確認	実装必須機能	児童生徒又は保護者に係わる住基異動者リストが出力できること。	○
131	0170152	住基異動者の確認	実装必須機能	指定した年月日の範囲に異動があったものを対象として、住基異動者リストを作成できること。	○
132	0170153	住基異動者の確認	実装必須機能	また、外国籍を有する児童生徒又は保護者については、日本国籍を有する児童生徒又は保護者とは分けて出力することができること。	○
133	0170154	住基異動者の確認	実装必須機能	出力対象は、住民記録システムの異動事由ごとに出力有無を設定可能とすること。	○
134	0170155	住基異動者の確認	実装必須機能	XLSX形式、CSV形式により出力できること。（EUC機能でも可）	○
135	0170402	住基異動者の確認	実装必須機能	住民基本台帳と学齢簿で差異があった児童生徒又は保護者を対象とし、学齢簿・住基差異チェックリストが出力できること。	○
136	0170157	学齢簿記載内容の変更	実装必須機能	学齢簿に記載された内容は任意に変更できること。	○
137	0170158	学齢簿記載内容の変更	実装必須機能	また、年度途中でも保護者の変更や転学等の情報を変更できること。	○
138	0170159	学齢簿記載内容の変更	実装必須機能	学齢簿の記載内容に変更があった場合、異動通知書及び学齢簿異動者一覧が出力できること。	○
139	0170160	学齢簿記載内容の変更	実装必須機能	また、異動入力した内容の履歴情報も作成・管理ができること。	○
140	0170161	学齢簿記載内容の変更	実装必須機能	異動日範囲や処理日範囲を抽出条件に指定して異動通知書及び学齢簿異動者一覧を一括出力できること。	○
141	0170162	学齢簿記載内容の変更	実装必須機能	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	○
142	0170163	学齢簿記載内容の変更	実装必須機能	備考は最新のデータにて管理できること。	○
143	0170164	学齢簿記載内容の変更	実装不可機能	任意の項目を登録でき、項目タイトルを自由にカスタマイズできること。	
144	0170165	学齢簿の消除	実装必須機能	転出等により学齢簿が消滅する場合、在籍していた学校向けに異動通知書の出力ができること。	○
145	0170166	学齢簿の消除	実装必須機能	また、保護者用と学校用の2種類の出力が可能であること。	○
146	0170168	不就学・猶予・免除	実装必須機能	不就学、就学義務の猶予又は免除に関する情報の登録・変更・照会ができること。	○
147	0170169	不就学・猶予・免除	実装必須機能	マイナポータルから受け付けた申請情報を登録できること。	○
148	0170170	不就学・猶予・免除	実装必須機能	出席の督促についても督促履歴の登録・修正・照会ができること。	○
149	0170171	不就学・猶予・免除	実装必須機能	また、就学義務猶予の事由が消失した場合、転入学通知書を出力できること。	○
150	0170172	就学の猶予・免除の通知	実装必須機能	就学困難が認められた児童生徒に対して、就学猶予又は免除することとなった場合、就学猶予・免除通知書の出力が可能であること。	○
151	0170173	学校への通知	実装必須機能	学齢簿の内容に変更があった場合には異動通知書が出力できること。	○
152	0170174	学校への通知	実装必須機能	また、対象範囲は学齢簿に関連する住民記録情報の異動も含むこと。	○
153	0170175	学校への通知	実装必須機能	異動通知書は一括出力ができること。	○
154	0170176	学校選択制度	実装必須機能	学区の自動設定とは別に学校選択機能があること。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
155	0170177	学校選択制度	実装必須機能	学校選択制に伴う異動処理が可能であること。	○
156	0170178	学校選択制度	実装必須機能	また変更・照会もできること。	○
157	0170180	学校選択制の案内	実装必須機能	新入学児童生徒を対象にした学校選択制案内書が発行できること。	○
158	0170181	学校選択制の案内	実装必須機能	また、学校選択制案内書発送者一覧が出力できること。	○
159	0170182	学校選択制の案内	実装必須機能	併せて、学校選択制調査書も出力できること。	○
160	0170183	学校選択制の案内	実装必須機能	学校選択制案内書と調査書は、国籍ごとにまとめて出力できること。	○
161	0170184	学校選択制の案内	実装必須機能	学校選択制案内書と調査書は小学校向けと中学校向けに出力できること。	○
162	0170185	就学校の変更	実装必須機能	保護者からの申請に伴う、就学校変更に関する異動（登録・変更・照会）ができること。	○
163	0170186	就学校の変更	実装必須機能	マイナポータルから受け付けた申請情報を登録できること。	○
164	0170187	就学校の変更	実装必須機能	就学校変更理由は、一覧から選択による入力ができること。	○
165	0170188	就学校の変更	実装必須機能	また、変更した履歴を管理できること。	○
166	0170189	就学校の変更	実装必須機能	就学校変更の解除ができること。	○
167	0170190	就学校の変更	実装必須機能	就学校変更申請年月日範囲や就学校変更許可年月日範囲を抽出条件に指定して就学校変更者一覧が出力できること。	○
168	0170191	就学校の変更	実装必須機能	また、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	○
169	0170193	就学校変更の申請	実装必須機能	また、就学校変更の申請理由、許可理由及び許可期間、学校名が管理できること。	○
170	0170194	就学校変更の申請	実装必須機能	理由については一覧から選択ができること。	○
171	0170196	許可期間の満了	実装必須機能	就学校変更の許可期間が満了する児童生徒に対して、就学校変更を終了し、就学指定校に戻る処理ができること。	○
172	0170197	許可期間の満了	実装必須機能	また、就学校変更満了通知書および転入学通知書が出力できること。	○
173	0170198	変更許可の通知	実装必須機能	就学校変更申請書による届出が許可された場合、就学校変更許可通知書を出力できること。	○
174	0170199	変更許可の通知	実装必須機能	また、保護者宛て・変更前後の学校長宛てで出力が可能であること。	○
175	0170200	区域外への就学	実装必須機能	区域外就学に伴う異動の登録・変更・照会ができ、区域外就学における管理項目の修正ができること。	○
176	0170201	区域外への就学	実装必須機能	また、区域外学校へ就学する児童生徒を管理できること。	○
177	0170202	区域外への就学	実装必須機能	併せて、区域外就学申請年月日範囲や区域外就学許可年月日範囲を抽出条件に指定した区域外就学者一覧が作成できること。	○
178	0170411	区域外への就学	標準オプション機能	併せて、区域外就学開始年月日範囲や区域外就学終了年月日範囲を抽出条件に指定した区域外就学者一覧が作成できること。	○
179	0170203	区域外への就学	実装必須機能	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	○
180	0170204	区域外就学の解除	実装必須機能	区域外就学が解除された場合は、解除日の任意入力や備考が入力できること。	○
181	0170205	区域外就学の解除	実装必須機能	また、転入学通知書の出力ができること。	○
182	0170206	区域外就学期間の満了	実装必須機能	区域外就学の期間が満了した等（住民記録情報の異動を伴わない事由）の場合、区域外就学を終了し、学齢簿の消除もしくは就学指定校に戻る処理ができること。	○
183	0170207	区域外就学期間の満了	実装必須機能	また、区域外就学満了通知書および転入学通知書を交付できること。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
184	0170208	区域外からの就学	実装必須機能	区域外就学に伴う異動の登録・変更・照会ができ、区域外就学における管理項目の修正ができること。	○
185	0170209	区域外からの就学	実装必須機能	また、市町村外から市町村内学校への就学する児童生徒を管理できること。	○
186	0170210	区域外からの就学	実装必須機能	マイナポータルから受け付けた申請情報を登録できること。	○
187	0170211	区域外からの就学	実装必須機能	併せて、区域外就学申請年月日範囲や区域外就学許可年月日範囲を抽出条件に指定した区域外就学者一覧が作成できること。	○
188	0170412	区域外からの就学	標準オプション機能	併せて、区域外就学開始年月日範囲や区域外就学終了年月日範囲を抽出条件に指定した区域外就学者一覧が作成できること。	○
189	0170212	区域外からの就学	実装必須機能	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	○
190	0170214	区域外就学の申請	実装必須機能	また、申請された書類より申請理由、許可理由及び許可期間、就学校名が管理できること。	○
191	0170215	区域外就学の申請	実装必須機能	申請理由については、一覧から選択ができること。	○
192	0170218	区域外就学協議書	実装必須機能	市町村外の児童生徒が当該市町村内の学校に就学申請がある場合、相手先市町村に区域外就学協議書が出力できること。	○
193	0170219	区域外就学協議書	実装必須機能	併せて、区域外就学承諾書も出力できること。	○
194	0170220	区域外就学許可の通知	実装必須機能	区域外就学申請に基づき、審査及び協議を経て区域外就学の承諾を得られた場合、区域外就学許可通知書が出力できること。	○
195	0170221	区域外就学許可の通知	実装必須機能	また、保護者宛てと就学校先学校長宛てそれぞれの出力が可能であること。	○
196	0170222	国・私立就学	実装必須機能	国・私立就学の届出に伴う異動の登録・変更・照会ができること。	○
197	0170223	国・私立就学	実装必須機能	また、独立行政法人・都道府県立（特別支援学校）・私立通学者など（市町村立学校の児童生徒以外の市内在住者）についても、管理できること。	○
198	0170224	国・私立就学の届出	実装必須機能	保護者より届出があった国・私立の就学校、期間を管理できること。	○
199	0170225	国・私立就学の届出	実装必須機能	また、国・私立への就学情報を履歴で管理できること。	○
200	0170228	進級・卒業一括処理	実装必須機能	小学校の進級・卒業および中学校の入学・進級・卒業の一括処理（年次切替処理）ができること。	○
201	0170229	進級・卒業一括処理	実装必須機能	また、一括更新の際、猶予・免除されていた年数および原級留置を考慮して進級及び卒業処理から除外できるようにすること。	○
202	0170230	卒業年月日	実装必須機能	小学校、中学校等の卒業対象者に対して、指定した卒業年月日を一括して登録できること。	○
203	0170231	原級留置対象者の把握	実装必須機能	原級留置対象者一覧が作成できること。	○
204	0170232	中学校入学者名簿	実装必須機能	学校や学年を抽出条件に指定した中学校入学者名簿が作成・出力できること。	○
205	0170233	中学校入学者名簿	実装必須機能	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	○
206	0170234	中学校入学者名簿	実装必須機能	全件リストについては、XLSX形式又はCSV形式により出力できること。（EUC機能でも可）	○
207	0170236	学校の新設・統廃合	実装必須機能	新たに新設される学校による就学校の変更があった場合や学校の統廃合及び再編成があった場合は、学区の登録・変更ができ、該当する児童生徒の指定小学校区、指定中学校区、就学指定校名、就学校名を一括更新できること。また、一括更新に際しては、変更履歴の作成も行い、学校入学年月日、学校転学年月日、学齢簿変更届出年月日、学齢簿変更年月日、学齢簿変更処理年月日、学齢簿変更事由もあわせて設定できること。	○
208	0170237	学校の新設・統廃合	実装必須機能	また、新設校・廃校に伴う入学通知書が出力できること。	○
209	0170238	学校の新設・統廃合	実装必須機能	併せて新設校・廃校に伴う入学通知書発送者一覧が出力できること。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
210	0170239	学校の新設・統廃合	標準オプション機能	住居表示等により通学区域の変更があった際に、学区及び学校の変更後のデータを一括で取り込むことができること。	
211	0170401	学校の新設・統廃合	標準オプション機能	また、更新結果を確認するための一覧表を出力できること。	
5 発行					
212	0170240	入学予定通知書	実装必須機能	翌年度に入学が予定されている児童生徒の入学予定通知書が一括出力できること。	○
213	0170241	入学予定通知書	実装必須機能	入学予定通知書は小学校向けと中学校向けで抽出・出力ができること。	○
214	0170242	入学予定通知書	実装必須機能	また、入学予定通知書発送者一覧も出力できること。	○
215	0170243	入学予定通知書	実装必須機能	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	○
216	0170244	入学予定通知書	実装必須機能	対象者を指定した個別発行が可能であること。	○
217	0170247	学校選択制通知	実装必須機能	学校を抽出条件に指定して、新入学児童生徒を対象にした学校選択制案内書が一括出力できること。	○
218	0170248	学校選択制通知	実装必須機能	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	○
219	0170249	学校選択制通知	実装必須機能	学校選択制案内書発送者一覧が一括出力できること。	○
220	0170250	学校選択制通知	実装必須機能	併せて、学校選択制調査書も一括出力できること。	○
221	0170251	学校選択制通知	実装必須機能	学校選択制案内書と学校選択制調査書は小学校向けと中学校向けに一括出力できること。	○
222	0170252	学校選択制通知	実装必須機能	学校選択制に則った選択可能な学校の一覧を印刷できること。（EUC機能でも可）	○
223	0170253	学校選択制通知	実装必須機能	対象者を指定した個別発行が可能であること。	○
224	0170255	健康診断通知書・健康診断票	実装必須機能	新入学児童を対象にして学校を抽出条件に指定して健康診断通知書が一括出力できること。	○
225	0170403	健康診断通知書・健康診断票	標準オプション機能	新入学児童を対象にして学校を抽出条件に指定して健康診断票、健康診断予備調査票が一括出力できること。	○
226	0170256	健康診断通知書・健康診断票	実装必須機能	就学時健康診断の実施日・受付時間・受診場所を任意に設定でき、健康診断通知書発送者一覧も一括出力できること。	○
227	0170257	健康診断通知書・健康診断票	実装必須機能	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	○
228	0170258	健康診断通知書・健康診断票	実装必須機能	学校を抽出条件に指定して健康診断結果通知書、健康診断結果通知書発送者一覧の一括出力ができること。	○
229	0170259	健康診断通知書・健康診断票	実装必須機能	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	○
230	0170260	健康診断通知書・健康診断票	実装必須機能	対象者を指定した個別発行が可能であること。	○
231	0170265	入学通知書	実装必須機能	入学が決定した内容で保護者向けの入学通知書及び入学通知書発送者一覧の一括出力ができること。	○
232	0170266	入学通知書	実装必須機能	また、学校を抽出条件に設定でき、小学校と中学校で別々に出力できること。	○
233	0170267	入学通知書	実装必須機能	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	○
234	0170268	入学通知書	実装必須機能	対象者を指定した個別発行が可能であること。	○
235	0170269	就学校変更満了通知書	実装必須機能	就学校変更の許可期間が満了した児童生徒に対して、就学校変更満了通知書が一括出力できること。	○
236	0170270	就学校変更満了通知書	実装必須機能	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
237	0170271	就学校変更満了通知書	実装必須機能	就学校変更満了通知書発送者一覧が一括出力できること。	○
238	0170272	就学校変更満了通知書	実装必須機能	対象者を指定した個別発行が可能であること。	○
239	0170273	区域外就学満了通知書	実装必須機能	区域外就学の許可期間が満了した児童生徒に対して、区域外就学満了通知書が一括出力できること。	○
240	0170274	区域外就学満了通知書	実装必須機能	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	○
241	0170275	区域外就学満了通知書	実装必須機能	区域外就学満了通知書発送者一覧が出力できること。	○
242	0170276	区域外就学満了通知書	実装必須機能	対象者を指定した個別発行が可能であること。	○
243	0170277	学齢簿	実装必須機能	学校や学年を抽出条件に指定して学齢簿が一括出力できること。	○
244	0170278	学齢簿	実装必須機能	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	○
245	0170279	学齢簿	実装必須機能	併せて、卒業年月日を条件に指定することで、特定年度の卒業者の学齢簿も一括出力が可能であること。	○
246	0170280	学齢簿	実装必須機能	異動日範囲や処理日範囲を抽出条件に指定して、異動分の一括出力ができること。	○
247	0170281	学齢簿	実装必須機能	対象者を指定した個別発行が可能であること。	○
248	0170282	学齢簿情報	実装必須機能	学齢簿情報をXLSX形式又はCSV形式により出力できること。（EUC機能でも可）	○
249	0170283	学齢簿情報	実装必須機能	学区別児童生徒一覧・外国籍児童一覧、外国籍生徒一覧により市内連絡用の学齢簿情報が出力できること。	○
250	0170292	学区・地域別人口統計表	実装必須機能	学区・地域別人口統計表が作成できること。	○
251	0170293	学区・地域別人口統計表	実装必須機能	併せて、XLSX形式又はCSV形式により出力できること。（EUC機能でも可）	○
252	0170294	学区・地域別人口統計表	標準オプション機能	学区・地域別人口統計表の集計にあたり、時点を指定できること。	
253	0170295	学区・学校・地域別集計表（小学校）	実装必須機能	学区・学校・地域別集計表（小学校）が作成できること。	○
254	0170296	学区・学校・地域別集計表（小学校）	実装必須機能	また、特別支援学級児童は別途個別に計上できること。	○
255	0170297	学区・学校・地域別集計表（小学校）	実装必須機能	併せてXLSX形式又はCSV形式により出力できること。（EUC機能でも可）	○
256	0170298	学区・学校・地域別集計表（小学校）	標準オプション機能	学区・学校・地域別人口統計表（小学校）の集計にあたり、時点を指定できること。	
257	0170299	学区・学校・地域別集計表（中学校）	実装必須機能	学区・学校・地域別集計表（中学校）が作成できること。	○
258	0170300	学区・学校・地域別集計表（中学校）	実装必須機能	また、特別支援学級生徒は個別に別途計上できること。	○
259	0170301	学区・学校・地域別集計表（中学校）	実装必須機能	併せてXLSX形式又はCSV形式により出力できること。（EUC機能でも可）	○
260	0170302	学区・学校・地域別集計表（中学校）	標準オプション機能	学区・学校・地域別人口統計表（中学校）の集計にあたり、時点を指定できること。	
261	0170307	支援措置対象者一覧	実装必須機能	支援中のみを対象するか、支援措置が終了したものを含めた対象とするかを抽出条件に指定して学校ごとに支援措置対象者一覧が出力できること。	○
262	0170308	支援措置対象者一覧	実装必須機能	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	○
263	0170309	抑止対象者一覧	実装必須機能	抑止中のみを対象するか、抑止が終了したものを含めた対象とするかを抽出条件に指定して学校ごとに抑止対象者一覧が出力できること。	○
264	0170310	抑止対象者一覧	実装必須機能	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
265	0170311	日本人・外国人出入国 記録照会	実装必須機能	不就学である児童生徒を把握するため、生年月日範囲を抽出条件に指定して不就学者を抽出し、外国人出入国記録照会書を国籍別に一括出力ができること。	○
266	0170312	日本人・外国人出入国 記録照会	実装必須機能	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	○
267	0170313	日本人・外国人出入国 記録照会	実装必須機能	外国人出入国記録照会書発送者一覧が一括出力できること。	○
268	0170314	日本人・外国人出入国 記録照会	実装必須機能	対象者を指定した個別発行が可能であること。	○
269	0170315	外国籍児童への就学案内	実装必須機能	不就学である外国籍を有する児童生徒向けに外国籍児童への就学案内の出力ができること。	○
270	0170316	外国籍児童への就学案内	実装必須機能	また、通知内容は日本語のみならず外国語表記に対応でき、いくつかの外国語パターンが用意できること。	○
271	0170317	学区別児童生徒一覧	実装必須機能	学区、学校や学年を抽出条件に指定して学齢簿に登録された児童生徒を学区別に一覧が出力できること。	○
272	0170318	学区別児童生徒一覧	実装必須機能	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	○
273	0170319	学区別児童生徒一覧	実装必須機能	併せてXLSX形式又はCSV形式により出力できること。（EUC機能でも可）	○
274	0170320	外国籍児童一覧	実装必須機能	学校や学年を抽出条件に指定して学齢簿に登録された外国籍児童一覧が出力できること。	○
275	0170321	外国籍児童一覧	実装必須機能	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	○
276	0170322	外国籍児童一覧	実装必須機能	併せてXLSX形式又はCSV形式により出力できること。（EUC機能でも可）	○
277	0170323	外国籍生徒一覧	実装必須機能	学校や学年を抽出条件に指定して学齢簿に搭載された外国籍生徒一覧が出力できること。	○
278	0170324	外国籍生徒一覧	実装必須機能	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	○
279	0170325	外国籍生徒一覧	実装必須機能	併せてXLSX形式又はCSV形式により出力できること。（EUC機能でも可）	○
280	0170326	各種通知書発送者文字 切れリスト	実装必須機能	システムから出力される通知書等の出力項目に文字溢れが発生した場合は、文字の大きさを調整するなどして、文字超過とならないようすること。	○
281	0170327	各種通知書発送者文字 切れリスト	実装必須機能	なお、文字数が多くやむをえず文字溢れが生じる場合や、未登録外字が含まれる場合は、以下の対応が行えること。 【個別発行の場合】 アラートを表示して注意喚起するとともに、文字溢れした情報、未登録外字をを確認できるようにすること。 【一括発行の場合】 各種通知書発送者文字切れリストを出力して、文字溢れした情報、未登録外字を確認できるようにすること。	○
6 バッチ					
282	0170328	バッチ処理	標準オプション機能	バッチ処理の実行（起動）方法として、直接起動だけでなく、年月日及び時分、毎日、毎週○曜日、毎月XX日、毎月末を指定した方法（スケジュール管理による起動）が提供されること。	
283	0170330	バッチ処理	標準オプション機能	また、バッチ処理の実行時は、前回処理時に設定したパラメータが参照されること。	○
284	0170334	バッチ処理	標準オプション機能	全てのバッチ処理の実行結果（処理内容や処理結果、処理時間、処理端末名称、正常又は異常の旨、異常終了した際はOSやミドルウェア等から出力されるエラーコード等）が出力されること。	○
285	0170335	バッチ処理	標準オプション機能	バッチの実行結果から一連の作業で最終的な提出物をXLSX形式等で作成する場合等には、自動実行する仕組みを用意すること。	
7 共通					
286	0170336	EUC機能ほか	実装必須機能	EUC機能（「地方公共団体の基幹業務システムの共通機能に関する標準仕様書」に規定するEUC機能をいう。）を利用して、データの抽出・分析・加工・出力ができること。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
287	0170337	EUC機能ほか	実装必須機能	EUC機能へ連携するデータ項目は「地方公共団体情報システムデータ要件・連携要件標準仕様書」の「基本データリスト(就学事務システム(学齢簿編製等))」の規定に従うこと。(就学事務システム(学齢簿編製等)とEUC機能を一体のパッケージとして構築する場合については、基本データリストに定義されたデータ項目を利用できることを前提に、基本データリスト外のデータ項目の利用も可能とする。)なお、機能別連携仕様にて他業務から取得しているデータ項目については、基本データリストにないデータ項目であっても、データソースの対象とし、データの型、桁数等は連携元である他業務の基本データリストの定義に従う必要がある。	○
288	0170338	アクセスログ管理	実装必須機能	(1) ログの取得 個人情報や機密情報の漏えいを防ぐために、システムの利用者及び管理者に対して、以下のログを取得すること。	○
289	0170339	アクセスログ管理	実装必須機能	① 操作ログ ア. 取得対象: (a)照会、(b)帳票発行、(c)異動入力(履歴追加)、(d)異動入力(履歴修正)、(e)異動入力(履歴削除)、(f)バッチ処理(帳票作成)、(g)バッチ処理(データ更新)、(h)画面ハードコピー、(i)データ抽出(EUC) ※(c)から(e) まで については、仮登録及び本登録両方の操作ログを取得できること。	○
290	0170340	アクセスログ管理	実装必須機能	イ.記録対象: 操作者 ID、日時、ファイル名、端末名、オンラインの場合は対象となったレコード(処理対象者等)・機能名・画面名、バッチについては処理名、処理・交付場所、個人番号へのアクセス有無	○
291	0170341	アクセスログ管理	実装必須機能	② 認証ログ ログイン及びログインのエラー回数等	○
292	0170342	アクセスログ管理	実装必須機能	③ イベントログ 就学事務システム(学齢簿編製等)内で起こった特定の現象・動作の記録。異常イベントやデータベースへのアクセス等のセキュリティに関わる情報	○
293	0170343	アクセスログ管理	実装必須機能	④ 通信ログ Webサーバや Web アプリケーションサーバ、データベースサーバ等との通信エラー等	○
294	0170344	アクセスログ管理	実装必須機能	⑤ 印刷ログ 印刷者ID、印刷日時、対象ファイル名、印刷プリンタ(又は印刷端末名、タイトル、枚数、公印出力の有無、個人番号の出力の有無、出力形式(プレビュー、印刷、ファイル出力等)、通知書の場合には文書番号等の情報	○
295	0170345	アクセスログ管理	実装必須機能	⑥ 設定変更ログ 管理者による設定変更時の情報	○
296	0170398	アクセスログ管理	実装必須機能	⑦エラーログ 就学事務システム(学齢簿編製等)上でエラーが発生した際の記録	○
297	0170399	アクセスログ管理	実装必須機能	取得したログは、市区町村が定める期間保管するとともに、オンラインでの検索・抽出・照会、EUC機能を用いた後日分析が簡単にできること。	○
298	0170346	アクセスログ管理	実装必須機能	なお、システム利用者や第三者によるログの改ざんがされないよう、書き込み禁止等の改ざん防止措置がされること。	○
299	0170347	アクセスログ管理	実装必須機能	(2)ログの分析 システムの利用者及び管理者のログについては、分析・ファイル出力が作成できること。	○
300	0170348	操作権限設定・管理	実装必須機能	システムの利用者及び管理者に対して、個人単位でID及びパスワード、利用者名称、所属部署名称、操作権限(異動処理や表示・閲覧等の権限)、利用範囲及び期間が管理できること。	○
301	0170349	操作権限設定・管理	実装必須機能	職員のシステム利用権限管理ができ、利用者とパスワードを登録し利用権限レベルが設定できること。	○
302	0170350	操作権限設定・管理	実装必須機能	操作者IDとパスワードにより認証ができ、パスワードは利用者による変更、システム管理者による初期化ができること。	○
303	0170351	操作権限設定・管理	標準オプション機能	シングル・サイン・オンが使用できること。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
304	0170352	操作権限設定・管理	実装必須機能	アクセス権限の付与は、利用者単位で設定できること。	○
305	0170353	操作権限設定・管理	実装必須機能	アクセス権限の設定はシステム管理者により設定できること。	○
306	0170354	操作権限設定・管理	実装必須機能	アクセス権限の付与も含めたユーザ情報の登録・変更・削除はスケジュールーに設定する等、事前に準備ができること。	○
307	0170355	操作権限設定・管理	実装必須機能	また、事務分掌による利用者ごとの表示・閲覧項目及び実施処理の制御ができること。	○
308	0170356	操作権限設定・管理	実装必須機能	他の職員が異動処理を行っている間は、同一住民の情報について、閲覧以外の作業ができないよう、排他制御ができること。	○
309	0170357	操作権限設定・管理	実装必須機能	なお、操作権限管理については、個別及び一括での各種制御やメンテナンスができること。	○
310	0170359	操作権限設定・管理	実装必須機能	IDパスワードによる認証に加え、ICカードや静脈認証等の生体認証を用いた二要素認証に対応すること。	○
311	0170360	操作権限設定・管理	実装必須機能	複数回の認証の失敗に対して、アカウントロック状態にできること。	○
312	0170361	操作権限設定・管理	標準オプション機能	組織・職位・職権での操作権限を設定できること。	○
313	0170392	操作権限設定・管理	標準オプション機能	操作権限一覧表で操作権限が設定できること。	○
314	0170362	ヘルプ機能	実装必須機能	システムの操作方法や運用方法等について、マニュアルを有していること。	○
315	0170363	ヘルプ機能	実装必須機能	また、ヘルプ機能として、操作画面上から、当該画面の機能説明・操作方法等が確認できるオンラインマニュアル（画面上に表示されるマニュアル類）が提供されること。	○
316	0170365	データ要件・連携要件 標準仕様書に基づく出力	実装必須機能	「データ要件・連携要件標準仕様書」におけるデータ要件の標準に従って、基本データリストに規定するグループを単位にして、任意のタイミングで出力する機能が提供されること。なお、その際には「データ要件・連携要件標準仕様書」にて規定されている文字要件に準ずること。	○
317	0170366	データ要件・連携要件 標準仕様書に基づく出力	実装必須機能	また、データ要件の標準以外で保有するデータがある場合は、同様に提供されること。	○
318	0170367	データ要件・連携要件 標準仕様書に基づく出力	実装必須機能	システム契約期間の終了時には、その時点でのデータ要件の標準に従って任意でデータ提供ができること。	○
319	0170368	印刷	実装必須機能	通知書を発行する際にプリンタやトレー（ホッパ）の指定ができること。	○
320	0170369	印刷	実装必須機能	出力部数を設定できること。	○
321	0170370	印刷	実装必須機能	帳票発行時にプレビュー機能を保有すること。	○
322	0170371	印刷	実装必須機能	帳票発行時にPDFか紙出力が指定でき、プリンタが指定できること。なお、デフォルトでPDFか紙出力かを設定できることとしても可能とする。	○
323	0170372	印刷	実装必須機能	就学事務システム（学齢簿編製等）内部でアクセスログの取得が可能な形で、表示画面のハードコピー機能及びハードコピーの印刷機能を有すること。	○
324	0170373	印刷	実装必須機能	氏名や住所等の印刷域桁数を超過したものについては、帳票発行時に超過内容を記載したリストを出力できること。	○
325	0170376	文書番号及び発行年月日	実装必須機能	文書番号及び発行年月日を通知書に記載できること。	○
326	0170377	公印・職名の印字	実装必須機能	システムから出力される公印印字に対応する通知書等には、通知書ごとに、教育長又は職務代理者の職名・氏名、公印印字の有無及び公印の種類（教育長又は職務代理者の印）が選択できること。	○
327	0170378	公印・職名の印字	実装必須機能	また、教育長又は職務代理者、代表者の職名を印字する場合は、指定都市・特別区の場合も含め、都道府県名を印字すること。	○
328	0170379	公印・職名の印字	実装必須機能	なお、公印は電子公印に対応し、種類（教育長又は職務代理者の印）が選択できること。	○
329	0170380	公印・職名の印字	実装必須機能	また、「公印省略」「この印は黒色です」等の任意の固定文言が印字できること。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
330	0170381	公印・職名の印字	実装必須機能	なお、電子公印は最大25mm角の黒色とすること。	○
331	0170382	文字溢れ対応	実装必須機能	システムから出力される通知書等の出力項目に文字溢れが発生した場合は、文字の大きさを調整するなどして、文字超過とならないようすること。	○
332	0170383	文字溢れ対応	実装必須機能	なお、文字数が多くやむをえず文字溢れが生じる場合は、以下の対応が行えること。 【個別発行の場合】 文字溢れした情報、未登録外字をを確認できるようにすること。 【一括発行の場合】 各種通知書発行者文字切れリストを出力して、文字溢れした情報を確認できるようにすること。	○
333	0170384	住登外者宛名番号の付 番依頼・管理機能	実装必須機能	住登外者宛名番号の付番・管理に関して、以下の処理ができること。 ・住登外者宛名番号管理機能（「地方公共団体情報システム共通機能標準仕様書」に規定する住登外者宛名番号管理機能をいう。）に対して対象者を照会し、照会結果を表示できること。	○
334	0170413	住登外者宛名番号の付 番依頼・管理機能	実装必須機能	住登外者宛名番号の付番・管理に関して、以下の処理ができること。 ・住登外者宛名番号の付番に際し、住登外者宛名番号管理機能より受領した照会結果に対象者が含まれる場合は、該当する住登外者宛名番号を当該対象者の宛名番号として管理し、その選択結果を住登外者宛名番号管理機能に対して連携できること。照会結果に対象者が含まれていない場合は、住登外者宛名番号管理機能に対して住登外者宛名番号の付番依頼ができること。	○
335	0170414	住登外者宛名番号の付 番依頼・管理機能	実装必須機能	住登外者宛名番号の付番・管理に関して、以下の処理ができること。 ・登録、更新した住登外者の宛名情報を住登外者宛名番号管理機能に対して連携できること。	○
336	0170385	大量印刷データ出力	実装必須機能	帳票等の印刷のため、当該帳票等のデータについてCSV形式のテキストファイルを作成し、出力できること。	○
337	0170386	大量印刷データ出力	実装必須機能	二次元コード(カスタマーバーコードを含む。)については、二次元コードの値をファイルに格納すること。	○
338	0170393	大量印刷データ出力	標準オプション機能	帳票等の印刷のため、当該帳票等のデータ(外字情報を含む。)について印刷イメージファイル(PDF形式等)を作成し、出力できること。	○
339	0170394	マイナポータルびったり サービス	実装必須機能	マイナポータルびったりサービスより受け付けた申請データのうち管理が必要な項目を、申請管理機能（「地方公共団体情報システム共通機能標準仕様書」において規定する申請管理機能をいう。以下同じ。）を経由して取得できること。 なお、経過措置として、「自治体の行政手続のオンライン化に係る申請管理システム等の構築に関する標準仕様書（令和5年1月20日 総務省）」に規定される連携方式3、4により申請管理機能を経由して取得することも許容される。また、管理が必要な項目とは、標準仕様書における管理項目を想定しているが、標準仕様書における管理項目が不足する場合には必要に応じて管理項目以外の項目を取得してもよい。	○
340	0170395	マイナポータルびったり サービス	実装必須機能	申請管理機能がマイナポータルびったりサービスに対して申請処理状況(処理中、要再申請、完了、却下、取下げのステータス)を送信する場合に用いるため、取得した項目等を表示、出力等できること。	○
341	0170415	他基幹業務システムと の連携	実装必須機能	住民記録システムに、住基情報の異動に伴い、住民の住基情報(個人番号なし)を照会する。	○
342	0170417	他基幹業務システムと の連携	実装必須機能	住民記録システムに、抑止設定及び解除した住民の抑止情報を照会する。	○
343	0170418	他基幹業務システムと の連携	実装必須機能	住民記録システムに、支援措置対象者情報を照会する。	○
344	0170421	他基幹業務システムと の連携	実装必須機能	申請管理機能に、マイナポータルから受け付けた申請情報を照会する。	○
345	0170422	他基幹業務システムと の連携	実装必須機能	申請管理機能に、不就学、就学義務の猶予又は免除に関する情報を照会する。	○
346	0170423	他基幹業務システムと の連携	実装必須機能	申請管理機能に、就学校変更に関する異動情報を照会する。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
347	0170424	他基幹業務システムとの連携	実装必須機能	申請管理機能に、区域外就学に伴う異動情報を照会する。	○
348	0170425	他基幹業務システムとの連携	実装必須機能	住登外者宛名番号等管理機能に、住登外者宛名番号を照会する。	○
349	0170427	他基幹業務システムとの連携	実装必須機能	就学事務システム(就学援助)に、児童生徒情報を提供する。	○
350	0170428	他基幹業務システムとの連携	実装必須機能	就学事務システム(就学援助)に、学校情報を提供する。	○
351	0170429	他基幹業務システムとの連携	実装必須機能	就学事務システム(就学援助)に、学年情報を提供する。	○
352	0170430	他基幹業務システムとの連携	実装必須機能	就学事務システム(就学援助)に、就学履歴情報を提供する。	○
353	0170431	他基幹業務システムとの連携	実装必須機能	校務支援システムに、学齢簿情報を提供する。	○
354	0170434	他基幹業務システムとの連携	実装必須機能	住登外者宛名番号等管理機能へ、住登外者宛名基本情報を送信する。	○
355	0170435	他基幹業務システムとの連携	実装必須機能	特別支援教育就学奨励費システムに、学齢簿情報を提供する。	○
356	0170436	住所マスタ	実装必須機能	住民の住所については住民記録システムから取得すること。	○
357	0170437	住所マスタ	実装必須機能	当該システムにおいて、住所登録が必要な場合は、住所マスタを保持すること。	○
358	0170438	保存期間を経過した情報の削除	実装必須機能	法令年限及び業務上必要な期間(保存期間)を経過した情報について、標準準拠システムから物理削除できること。	○
359	0170439	保存期間を経過した情報の削除	実装必須機能	個人番号利用事務においては、保存期間を経過した場合には、個人番号及び関連情報を標準準拠システムからできるだけ速やかに削除できること。	○
360	0170440	保存期間を経過した情報の削除	実装必須機能	保存期間は、各地方公共団体が任意で指定できること。	○
8 エラー・アラート項目					
361	0170388	エラー・アラート項目	実装必須機能	論理的に成立し得ない入力その他の抑止すべき入力等は、エラー(※)として抑止すること。エラーは、当該内容で登録することを抑止することが目的であり、その実装方法として、エラーメッセージを表示し、次の画面に進めないようにすることも、エラーメッセージの表示によらず、そもそも入力不可とすることで対応することも差し支えない。 ※エラー: 論理的に成立し得ない入力その他の抑止すべき入力等について、抑止すべき原因が解消されるまで、当該入力等を確定できないもの	○
362	0170389	エラー・アラート項目	実装必須機能	論理的には成立するが特に注意を要する入力等は、アラート(※)として注意喚起すること。 ※アラート: 論理的には成立するが特に注意を要する入力等について、注意喚起の表示を経た上で、当該入力等を確定できるもの	○
363	0170390	エラー・アラート項目	実装必須機能	画面から入力する時に必須入力項目は明示的であること。	○
364	0170391	エラー・アラート項目	実装必須機能	エラー・アラートとする場合は、原因となったエラー・アラート項目と理由・対応方法を入力者に適切に伝えること。	○
421	機能要件	学齢簿関連データ	追加要件	児童生徒が施設に入所している場合、住登外者として施設長を事前に登録しておくことで保護者として選択できること。	○
422	機能要件	帳票全般	追加要件	現行システムで本市が独自で管理する項目については、備考もしくはメモ等で管理できること。	○
423	帳票要件	新規就学者	追加要件	【小学校】 毎年4月に、翌年度新1年生となる児童の就学予定者名簿を出力できること。 また、毎年8月・12月・1月に翌年度新1年生になる児童の就学予定者名簿を出力し、異動(追加された児童・削除になった児童等)も確認できること。 【中学校】 毎年8月に、翌年度新1年生となる生徒の就学予定者名簿を出力できること。 また、毎年12月・1月に翌年度新1年生になる生徒の就学予定者名簿を出力し、異動(追加された生徒・削除になった生徒等)も確認できること。	
424	帳票要件	児童生徒情報	追加要件	児童生徒情報(標準仕様書の基本データリストで定められている項目の範囲内)が出力できること。(EUC対応可)	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
425	帳票要件	学校別学年別児童一覧	追加要件	学校別学年別児童一覧が出力できること。(EUC対応可)	○
426	帳票要件	地区別学年別児童一覧	追加要件	地区別学年別児童一覧が出力できること。(EUC対応可)	○
427	帳票要件	入学予定者名簿(最新のみ)	追加要件	入学予定者名簿(最新のみ)が出力できること。(EUC対応可)	○
428	帳票要件	2歳から15歳までの指定 小中学校別集計(福岡 県報告用)	追加要件	2歳から15歳までの指定小中学校別集計(福岡県報告用)が出力できること。(EUC対応可)	○
429	帳票要件	国県私立学校への入学 者一覧表(各学校別人 数)	追加要件	国県私立学校への入学者一覧表(各学校別人数)が出力できること。(EUC対応可)	○
430	帳票要件	小中学校別 指定校変 更・区域外就学 許可要 件別人数一覧表	追加要件	就学状況の詳細情報として、学校ごとに指定校変更や区域外就学の割合、さらには、指定校変更や区域外就学の詳細(教育的配慮、留守家庭、家庭の事情等)を把握するための帳票が出力できること。(EUC対応可)	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
4.2 新規就学者登録					
1	0170001	小学校就学予定者一覧	実装必須機能	小学校就学予定者一覧について、学校毎に直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、「4.1.3 一覧表の共通項目」に規定する項目（児童生徒情報及び保護者情報）に以下を加えたものとする。・児童生徒の現住所	○
2	0170002	保護者情報チェック一覧表	実装必須機能	保護者情報チェック一覧表について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、「4.1.3 一覧表の共通項目」に規定する項目（児童生徒情報及び保護者情報）とする。・児童生徒の住民記録情報の続柄・児童生徒の世帯番号・児童生徒の世帯主氏名	○
3	0170003	保護者警告チェックリスト	実装必須機能	保護者警告チェックリストについて、保護者の自動判定が行えなかった児童生徒を対象に、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、「4.1.3 一覧表の共通項目」に規定する項目（児童生徒情報）とする。・児童生徒の世帯番号・児童生徒の世帯主氏名	○
4	0170004	異動通知書	実装必須機能	異動通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により出力できること（保護者宛、新旧学校長宛）。また、学齢簿変更届出年月日又は学齢簿変更年月日の範囲指定により一括出力できること。カスタマーバーコードを記載すること。通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	○
5	0170005	学齢簿異動者一覧	実装必須機能	学齢簿異動者一覧について、学齢簿の異動(変更)を行った児童生徒を対象に、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。また、児童生徒の学年と、学齢簿変更届出年月日又は学齢簿変更年月日日付の範囲指定により、新旧それぞれの学校毎に出力できること。出力項目は、「4.1.3 一覧表の共通項目」に規定する項目（児童生徒情報及び保護者情報）に以下を加えたものとする。【変更前の情報】・児童生徒氏名・児童生徒振り仮名（フリガナ）・児童生徒の生年月日・児童生徒性別・児童生徒の住所・学校名・保護者氏名・保護者振り仮名（フリガナ）・保護者と児童生徒との関係・児童生徒の世帯主氏名【変更後の情報】・学齢簿変更届出年月日・学齢簿変更年月日・学齢簿変更事由	○
6	0170006	小学校入学者名簿	実装必須機能	小学校入学者名簿について、学校毎に直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、「4.1.3 一覧表の共通項目」に規定する項目（児童生徒情報及び保護者情報）に以下を加えたものとする。・児童生徒の現住所・就学校変更事由（区域外就学の場合は、区域外就学事由）・就学校変更許可年月日（区域外就学の場合は、区域外就学許可年月日）	○
4.3 学齢簿異動					
7	0170007	転入学通知書	実装必須機能	転入学通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により個別出力できること（保護者宛、学校長宛）。カスタマーバーコードを記載すること。通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
8	0170009	同一人物としてチェック 結果を画面もしくは同一 人リスト	標準オプション機能	同一人リストについて、「第3章 > 4.2.1.2 > 二重登録」のチェック機能と同様の条件に該当する再転入や帰化、住民登録外者から住民となった児童生徒を対象に、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により登録済の情報と新しい情報の2つのデータを出力できること。出力項目は、「4.1.3 一覧表の共通項目」に規定する項目（児童生徒情報及び保護者情報）に以下を加えたものとする。 ・児童生徒郵便番号 ・児童生徒の現住所 ・児童生徒宛名番号 ・保護者郵便番号 ・保護者の現住所 ・保護者の宛名番号	○
9	0170010	住基異動者リスト	実装必須機能	住基異動者リストについて、住民基本台帳に変更があった児童生徒又は保護者を対象に、XLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。また、外国籍を有する児童生徒又は保護者については、日本国籍を有する児童生徒又は保護者とは分けて出力することができる。出力項目は、「4.1.3 一覧表の共通項目」に規定する項目（児童生徒情報及び保護者情報）に以下を加えたものとする。 【変更前の情報】 ・児童生徒氏名 ・児童生徒氏名の振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・児童生徒の住所 ・児童生徒の住民記録情報の続柄 ・保護者氏名 ・保護者氏名の振り仮名（フリガナ） ・保護者と児童生徒との関係 ・指定小学校区 ・指定中学校区 ・児童生徒の世帯主氏名 【変更後の情報】 ・児童生徒の住民記録情報の続柄 ・児童生徒の住民記録情報の異動事由、異動日、届出日 ・児童生徒の住所 ・指定小学校区 ・指定中学校区 ・児童生徒の世帯主氏名	○
10	0170012	就学猶予・免除通知書	実装必須機能	就学猶予・免除通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により出力できること（保護者宛、学校長宛）。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	○
11	0170014	就学校変更許可通知書	実装必須機能	就学校変更許可通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により出力できること（保護者宛、新旧学校長宛）。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。 当様式は就学校変更許可通知書、区域外就学許可通知書で共通とする。	○
12	0170015	就学校変更者一覧	実装必須機能	就学校変更者一覧について、就学校変更中の児童生徒及び就学校変更が満了した児童生徒を対象に、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、「4.1.3 一覧表の共通項目」に規定する項目（児童生徒情報及び保護者情報）に以下を加えたものとする。 ・指定小学校区又は指定中学校区 ・就学指定校名 ・就学校変更事由 ・就学校変更申請年月日 ・就学校変更許可年月日 ・就学校変更開始年月日 ・就学校変更終了年月日	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
13	0170016	区域外就学者一覧	実装必須機能	区域外就学者一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、「4.1.3 一覧表の共通項目」に規定する項目（児童生徒情報及び保護者情報）に以下を加えたものとする。 ・設置者名 ・区域外就学事由 ・区域外就学申請年月日 ・区域外就学許可年月日 ・区域外就学開始年月日 ・区域外就学終了年月日	○
14	0170018	区域外就学協議書	実装必須機能	区域外就学協議書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により出力できること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	○
15	0170019	区域外就学承諾書	実装必須機能	区域外就学承諾書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により出力できること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	○
16	0170020	区域外就学許可通知書	実装必須機能	区域外就学許可通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により出力できること（保護者宛、新旧学校長宛）。 カスタマーバーコードを記載すること。 区域外就学許可通知書の様式は就学校変更許可通知書と共通とし、必要に応じて各項目名と文言を変更することで対応することとする（参考までにレイアウトと記載例を次に示す。）。	○
17	0170021	中学校入学者名簿	実装必須機能	中学校入学者名簿について、学校毎に直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、「4.1.3 一覧表の共通項目」に規定する項目（児童生徒情報及び保護者情報）に以下を加えたものとする。 ・児童生徒の現住所 ・出身小学校 ・就学校変更事由（区域外就学の場合は、区域外就学事由） ・就学校変更許可年月日（区域外就学の場合は、区域外就学許可年月日）	○
18	0170022	原級留置対象者一覧	実装必須機能	原級留置対象者一覧について、学校毎に直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、「4.1.3 一覧表の共通項目」に規定する項目（児童生徒情報及び保護者情報）に以下を加えたものとする。 ・原級留置決定年月日 ・原級留置開始年月日 ・原級留置終了年月日 ・原級留置理由	○
19	0170065	学齢簿・住基差異チェックリスト	実装必須機能	学齢簿・住基差異チェックリストについて、住民基本台帳と学齢簿で差異があった児童生徒又は保護者を対象に、XLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、「4.1.3 一覧表の共通項目」に規定する項目（児童生徒情報及び保護者情報）に以下を加えたものとする。 【変更前の情報】 ・児童生徒氏名 ・児童生徒氏名の振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・児童生徒の住所 ・児童生徒の住民記録情報の続柄 ・保護者氏名 ・保護者氏名の振り仮名（フリガナ） ・保護者と児童生徒との関係 ・指定小学校区 ・指定中学校区 ・児童生徒の世帯主氏名 【変更後の情報】 ・児童生徒の住民記録情報の続柄 ・児童生徒の住民記録情報の異動事由、異動日、届出日 ・児童生徒の住所 ・指定小学校区 ・指定中学校区 ・児童生徒の世帯主氏名	○
4.4 学校の新設・統廃合					

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
20	0170023	新設校・廃校に伴う入学通知書	実装必須機能	新設校・廃校に伴う入学通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	○
21	0170024	新設校・廃校に伴う入学通知書発送者一覧	実装必須機能	新設校・廃校に伴う入学通知書発送者一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、「4.1.4 発送者一覧の共通項目」に規定する項目とすること。	○
22	0170025	各種通知書発送者文字切れリスト	実装必須機能	各種通知書発送者文字切れリストについて、XLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、「4.1.3 一覧表の共通項目」に規定する項目（児童生徒情報及び保護者情報）に以下を加えたものとする。 ・エラー内容 ・該当項目 ・オーバー字・内容	○
4.5 通知書等出力					
23	0170026	入学予定通知書	実装必須機能	入学予定通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること（保護者宛、学校長宛）。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	○
24	0170027	入学予定通知書発送者一覧	実装必須機能	入学予定通知書発送者一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、「4.1.4 発送者一覧の共通項目」に規定する項目とすること。	○
25	0170028	学校選択制案内書	実装必須機能	学校選択制案内書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること	○
26	0170029	学校選択制案内書発送者一覧	実装必須機能	学校選択制案内書発送者一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、「4.1.4 発送者一覧の共通項目」に規定する項目とすること。	○
27	0170030	学校選択制調査書（小学校）	実装必須機能	学校選択制調査書（小学校）について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。 当様式は学校選択制調査書（小学校）、学校選択制調査書（中学校）で共通とする。	○
28	0170031	学校選択制調査書（中学校）	実装必須機能	学校選択制調査書（中学校）について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。 学校選択制調査書（中学校）の様式は学校選択制調査書（小学校）と共通とし、必要に応じて各項目名と文言を変更することで対応することとする（参考までにレイアウトと記載例を次に示す。）。 。	○
29	0170032	健康診断通知書	実装必須機能	健康診断通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること（A4縦版）。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	○
30	0170033	健康診断通知書発送者一覧	実装必須機能	健康診断通知書発送者一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、「4.1.4 発送者一覧の共通項目」に規定する項目とすること。	○
31	0170034	健康診断票	標準オプション機能	健康診断票について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること。 様式は、文部科学省ホームページに掲載されている「就学時健康診断票（第1号様式）（令和3年度以降様式）」を参考にする。	○
32	0170035	健康診断予備調査票	標準オプション機能	健康診断予備調査票について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること。 様式は、日本学校保健会の「就学時の健康診断マニュアル（平成29年度改訂）」に掲載されている「健康に関する調査（例）」を参考にする。	

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
33	0170036	健康診断結果通知書	実装必須機能	健康診断結果通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること。 様式は、日本学校保健会の「就学時の健康診断マニュアル（平成29年度改訂）」に掲載されている「就学時の健康診断結果のお知らせ（例）」を参考にすること。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	○
34	0170037	健康診断結果通知書発 送者一覧	実装必須機能	健康診断結果通知書発送者一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、「4.1.4 発送者一覧の共通項目」に規定する項目とすること。	○
35	0170038	小学校入学通知書	実装必須機能	小学校入学通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること（A4縦版、圧着はがき版）。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。 当様式は小学校入学通知書、中学校入学通知書で共通とする。	○
36	0170039	小学校入学通知書発送者 一覧	実装必須機能	小学校入学通知書発送者一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、「4.1.4 発送者一覧の共通項目」に規定する項目とすること。	○
37	0170040	中学校入学通知書	実装必須機能	中学校入学通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること（A4縦版、圧着はがき版）。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。 中学校入学通知書の様式は小学校入学通知書と共通とし、必要に応じて各項目名と文言を変更することで対応することとする（参考までにレイアウトと記載例を次に示す。）。	○
38	0170041	中学校入学通知書発送者 一覧	実装必須機能	中学校入学通知書発送者一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、「4.1.4 発送者一覧の共通項目」に規定する項目とすること。	○
39	0170042	就学校変更満了通知書	実装必須機能	就学校変更満了通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。 就学校変更満了通知書の様式は区域外就学満了通知書と共通とする。	○
40	0170043	就学校変更満了通知書発 送者一覧	実装必須機能	就学校変更満了通知書発送者一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、「4.1.4 発送者一覧の共通項目」に規定する項目とすること。	○
41	0170044	区域外就学満了通知書	実装必須機能	区域外就学満了通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。 区域外就学満了通知書の様式は就学校変更満了通知書と共通とし、必要に応じて各項目名と文言を変更することで対応することとする（参考までにレイアウトと記載例を次に示す。）。	○
42	0170045	区域外就学満了通知書発 送者一覧	実装必須機能	区域外就学満了通知書発送者一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、「4.1.4 発送者一覧の共通項目」に規定する項目とすること。	○
4.6 名簿出力					
43	0170046	学齢簿（単票）	実装必須機能	学齢簿（単票）を XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること。出力項目は、以下の管理項目「学齢簿関連データ」から出力できること。 ・児童生徒データ ・保護者データ ・市町村内学校関連データ ・区域外学校関連データ ・特別支援学校関連データ ・督促関連データ ・猶予・免除関連データ ・学齢簿変更関連データ ・支援措置対象者関連データ	○
44	0170064	学齢簿（単票）	標準オプション機能	就学事務固有で設定された通称名の出力は任意とする。 外国籍を有する場合、通称名、外国人氏名漢字、外国人氏名英字を全て出力するか、通称名、外国人氏名漢字、外国人氏名英字の順に登録があるものを優先して出力（但し、氏名優先区分が設定されている場合は、その設定に従って出力）するかは任意とする。	○
4.7 学齢簿情報出力					

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
45	0170047	学齢簿情報(学齢簿の一覧情報)	実装必須機能	学齢簿情報をXLSX形式又はCSV形式又は直接印刷のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、第5章「5.4.2 就学事務システム(学齢簿編製等)からの出力」を参照のこと。	○
4.8 成人式案内出力 4.9 運動会案内出力 4.10 統計					
46	0170052	学区・地域別人口統計表	実装必須機能	学区・地域別人口統計表について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ・指定小学校区又は指定中学校区 ・地域(自治会) ・児童生徒数(年齢・男女別) ・児童生徒数(合計)	○
47	0170053	学区・学校・地域別集計表(小学校)	実装必須機能	学区・学校・地域別集計表(小学校)について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ・指定小学校区 ・学校 ・地域(自治会) ・普通学級児童生徒数(学年・男女別) ・普通学級児童生徒数(合計) ・特別支援学級児童生徒数(学年・男女別) ・特別支援学級児童生徒数(合計) ・児童生徒数(学年・男女別) ・児童生徒数(合計)	○
48	0170054	学区・学校・地域別集計表(中学校)	実装必須機能	学区・学校・地域別集計表(中学校)について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ・指定中学校区 ・学校 ・地域(自治会) ・普通学級児童生徒数(学年・男女別) ・普通学級児童生徒数(合計) ・特別支援学級児童生徒数(学年・男女別) ・特別支援学級児童生徒数(合計) ・児童生徒数(学年・男女別) ・児童生徒数(合計)	○
4.11 支援措置対象・抑止対象					
49	0170056	支援措置対象者一覧	実装必須機能	支援措置対象者一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、「4.1.3 一覧表の共通項目」に規定する項目(児童生徒情報及び保護者情報)に以下を加えたものとする。 ・支援措置対象者情報	○
50	0170057	抑止対象者一覧	実装必須機能	抑止対象者一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、「4.1.3 一覧表の共通項目」に規定する項目(児童生徒情報及び保護者情報)に以下を加えたものとする。 ・抑止対象者情報	○
4.12 不就学					
51	0170058	日本人・外国人出入国記録照会書	実装必須機能	日本人・外国人出入国記録照会書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること。様式は、文部科学省ホームページに掲載されている「照会書(様式例)」を参考にすること。	○
52	0170059	日本人・外国人出入国記録照会書発送者一覧表	実装必須機能	日本人・外国人出入国記録照会書発送者一覧表について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、「4.1.4 発送者一覧の共通項目」に以下を加えたものとする。 ・保護者氏名 ・保護者氏名の振り仮名(フリガナ) ・保護者と児童生徒との関係	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
53	0170060	外国籍児童への就学案内	実装必須機能	外国籍児童への就学案内(外国籍)について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ・送付先郵便番号 ・送付先住所 ・送付先氏名 ・カスタマーバーコード ・文書番号 ・発行年月日 ・認証者氏名 ・認証者職種 ・通知書タイトル ・案内文 ・お問合せ先 名称 ・お問合せ先 住所 ・お問合せ先 電話番号	○
4.13 その他					
54	0170061	学区別児童生徒一覧	実装必須機能	学区別児童生徒一覧について、学区別に直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、「4.1.3 一覧表の共通項目」に規定する項目(児童生徒情報及び保護者情報)に以下を加えたものとする事。 ・指定小学校区又は指定中学校区	○
55	0170062	外国籍児童一覧	実装必須機能	外国籍児童一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、「4.1.3 一覧表の共通項目」に規定する項目(児童生徒情報及び保護者情報)とすること。	○
56	0170063	外国籍生徒一覧	実装必須機能	外国籍生徒一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、「4.1.3 一覧表の共通項目」に規定する項目(児童生徒情報及び保護者情報)とすること。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
1. 申請受付					
1	0180278	就学世帯管理	実装必須機能	住民記録システム、学齢簿管理システムと連携し、就学世帯情報（保護者情報、世帯員情報、注意情報（支援措置対象者情報等を含む）、学校情報（在籍学校・学年）等）を個別又は日次（バッチ）で取込み参照できること。	○
2	0180002	就学世帯管理	実装必須機能	氏名と生年月日が同一のデータが取り込まれた場合は、名寄せ処理をする・しないを選択し登録できること。	○
3	0180003	就学世帯管理	標準オプション機能	マイナポータル等から送信された転入予約申請又は転居予約情報のうち、来庁予定者の受入れ事前準備に用いる情報を、申請管理機能（「地方公共団体の基幹業務システムの共通機能に関する標準仕様書」において規定する申請管理機能をいう。以下同じ。）から取得できること。	
4	0180004	就学世帯管理	標準オプション機能	転入前に、住民記録システムから転出証明書情報（番号利用法で規定する個人番号を除く。以下同じ。）に係る関係する情報を取得できること。	
5	0180220	就学世帯管理	標準オプション機能	マイナポータルで付された符号により、取り込んだ転出証明書情報と転入予約情報をひもづけて管理できること。	
6	0180005	就学世帯管理	標準オプション機能	転入予約情報、転居予約情報及び転出証明書情報を当該情報のデータ項目により検索ができ、画面又は帳票に出力できること。	
7	0180221	就学世帯管理	標準オプション機能	申請管理機能から転入予約又は転居予約の取消申請を受理した場合、マイナポータルで付された受付番号（「ぴったりサービス_外部インターフェース仕様書」に規定する受付番号をいう。）を用いて、対応する転入予約情報又は転居予約情報を削除できること。また、転入予約の取消申請においては、削除される転入予約情報に対してマイナポータルで付された符号を用いて、対応する転出証明書情報を削除できること。	
8	0180007	就学世帯管理	実装必須機能	審査に利用する世帯情報（世帯員ごとのマイナンバー利用同意有無、所得情報の利用同意有無を含む）は、住民記録システム上の世帯とは別に管理することができ、その世帯員は追加・更新・削除できること。	○
9	0180008	就学世帯管理	実装必須機能	申請者の住民記録システム上の住所以外の住所を、申請書、各種通知書等の送付先に設定できること。	○
10	0180011	住所マスタの参照	実装必須機能	住民の住所については住民記録システムから取得すること。	○
11	0180012	申請情報管理	実装必須機能	児童生徒ごとの申請情報（申請番号、学校コード、仮学校コード、受付年月日、申請区分、申請理由、申請者情報、世帯員情報、児童生徒情報（学校・学年情報を含む）、口座情報、入学前支給対象、就学援助の希望の有無、送付先情報（氏名、住所、郵便番号、方書）、備考情報等）を、就学世帯情報と紐づけて管理（参照・登録・修正・削除）ができること。	○
12	0180216	申請情報管理	標準オプション機能	児童生徒ごとの申請情報として、転入元自治体での就学援助費の支給情報を就学世帯情報と紐づけて管理（参照・登録・修正・削除）ができること。	
13	0180013	申請情報管理	実装必須機能	児童生徒ごとの申請情報の登録・修正・削除は、システムへの個別入力・CSVファイル等の一括取込のどちらでも対応可能とすること。	○
14	0180014	申請情報管理	実装必須機能	同一世帯内で受付日、認定日が異なる児童生徒についても個別に管理できること。	○
15	0180242	申請情報管理	標準オプション機能	兄弟姉妹（審査に用いる同一世帯に属する児童生徒）がいる場合、申請情報を他の兄弟姉妹に反映する・しないを選択し、反映できること。	○
16	0180017	申請情報管理	実装必須機能	認定期間途中の変更（申請番号、学校コード、学校転学年月日、申請者変更、支給方法変更、所得変更、申請区分、申請理由、就学世帯情報、学校情報（在籍学校・学年）、口座変更、送付先情報、備考情報の変更等）について管理できること。	○
17	0180018	申請情報管理	実装必須機能	認定年度末日時点の認定者について、基準日を指定して住民記録システム上の世帯員と就学事務システム（就学援助）上の世帯員を比較し、一致する者の前認定年度申請情報を翌認定年度申請情報として複写した上で、一括または個別に自動継続処理（継続して申請されたものとして扱う処理）にできること。	○
18	0180019	申請情報管理	実装必須機能	自動継続処理された者の一覧を出力できること。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
19	0180020	申請情報管理	実装必須機能	前認定年度末日時点の認定者のうち、自動継続処理されていない者かつ現認定年度に申請が無い者の一覧を出力できること。	○
20	0180021	申請情報管理	実装必須機能	自動継続処理に際して、住民記録システム上の世帯員と就学事務システム（就学援助）上の世帯員が異なる世帯については、一覧として出力できること。	○
21	0180022	申請情報の不備確認	実装必須機能	申請情報を入力する際、氏名と生年月日が同一で認定期間が重複する児童生徒が既に登録されていないかチェックを行い、重複していた場合はアラート表示するとともに、該当の申請情報を確認できること。	○
22	0180023	申請情報の不備確認	実装必須機能	申請情報を入力する際、対象の児童生徒に兄弟姉妹（審査に用いる同一世帯に属する児童生徒）がいる場合に、アラートを表示できること。	○
23	0180024	申請情報の不備確認	実装必須機能	住民記録システム又は学齢簿管理システムから取り込んだ就学世帯情報と、登録した申請情報に差異がある場合に、該当の申請情報についてエラーリストが出力できること。	○
24	0180025	申請情報の不備確認	標準オプション機能	差異のあるデータを、項目ごとに就学事務システム（就学援助）の申請情報に反映する・しないを選択し、一括又は個別に反映できること。	
25	0180026	申請取消	実装必須機能	申請者による申請の取消を受け付け、届の内容（申請取消の事由、受付日等）の管理（参照・登録・修正・削除）ができること。	○
26	0180027	申請取消	実装必須機能	申請内容を削除する際にはアラートを表示すること。	○
27	0180028	申請情報の履歴管理	実装必須機能	申請情報（申請番号、学校コード、受付日、申請区分、申請理由、申請者情報、世帯員情報、児童生徒情報（学校・学年情報を含む）、口座情報、入学前支給対象、備考情報等）の履歴情報を管理（参照）できること。	○
28	0180031	公金受取口座	実装必須機能	公金受取口座（公的給付支給等口座）の利用の意思の有無（公金口座区分）を管理（参照・登録・修正・削除）できること。	○
29	0180032	公金受取口座	実装必須機能	公金受取口座の利用の意思がある場合には、申請又は給付の都度、情報提供ネットワークシステムを通じて公金受取口座登録システムから公金受取口座情報を自動で取得し、給付金等の振込先口座として利用及び管理（参照）できること。	○
30	0180034	マイナポータルからの申請受付	実装必須機能	マイナポータルぴったりサービスより受け付けた申請データのうち管理が必要な項目を、申請管理機能（「地方公共団体の基幹業務システムの共通機能に関する標準仕様書」において規定する申請管理機能をいう。以下同じ。）を経由して取得できること。なお、経過措置として、「自治体の行政手続のオンライン化に係る申請管理システム等の構築に関する標準仕様書（令和5年1月20日 総務省）」に規定される連携方式3、4により申請管理機能を経由して取得することも許容される。また、管理が必要な項目とは、標準仕様書における管理項目を想定しているが、標準仕様書における管理項目が不足する場合には必要に応じて管理項目以外の項目を取得してもよい。 【対象事務】 ・就学援助申請（新規認定（入学前支給認定を含む）、継続認定）	○
31	0180035	マイナポータルからの申請受付	実装必須機能	申請管理機能がマイナポータルぴったりサービス等に対して申請処理状況（処理中、要再申請、完了、却下、取り下げのステータス）を送信する場合に用いるため、取得した項目等を表示、出力等できること。	○
32	0180036	メモ関連データの管理	実装必須機能	個人を単位とし、記載事項を限定しないメモ入力が可能であること。	○
33	0180037	メモ関連データの管理	実装必須機能	メモについては、区分及び区分名称を設定できること。	○
34	0180038	メモ関連データの管理	実装必須機能	メモを入力した者の所属部署名称、ユーザ ID 及び日時が記録されること。	○
35	0180039	メモ関連データの管理	実装必須機能	メモ入力された内容については、通知書等の外部向け帳票に出力されないこと。	○
36	0180040	1.2.11.メモ関連データの管理	標準オプション機能	メモの履歴情報を（参照）できること。	○
2. 審査					

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
37	0180244	認定基準マスタ管理	実装必須機能	次の項目を、認定基準として認定年度ごとに管理でき、審査に用いる認定年度を任意に選択できること。 所得または収入が認定基準額未満(以下)/生活保護法に基づく保護の停止または廃止/市区町村民税の非課税/市区町村民税の減免/児童扶養手当の支給/個人の事業税の減免/生活福祉資金による貸付け/所得または収入が特別支援教育就学奨励費の需要額測定に用いる保護基準額未満(以下)	○
38	0180244	認定基準マスタ管理	標準オプション機能	次の項目を、認定基準として認定年度ごとに管理でき、審査に用いる認定年度を任意に選択できること。 国民年金保険料の免除/国民健康保険法の保険料の減免または徴収の猶予/固定資産税の減免	○
39	0180231	認定基準マスタ管理	標準オプション機能	次の項目を、認定基準として認定年度ごとに管理でき、審査に用いる認定年度を任意に選択できること。 生活保護受給中	○
40	0180042	認定基準マスタ管理	実装必須機能	認定基準として、その他の任意の項目を設定できること。	○
41	0180043	認定基準マスタ管理	実装必須機能	各認定基準の有効/無効は任意に設定できること。	○
42	0180044	認定基準額マスタ管理	実装必須機能	認定基準額の算定に用いる次の値(金額・係数)を、認定年度ごとにマスタデータとして管理でき、審査に用いる認定年度を任意に選択できること。 【生活保護に準ずる基準額】 生活扶助(第1類費)/生活扶助(第2類費)/通減率/生活扶助本体における経過的加算/冬季加算/期末一時扶助/基礎控除/住宅扶助/教育扶助/学校給食費/通学交通費/その他任意の値 【認定基準係数】 認定基準係数 【その他の生活保護に準ずる基準額】 学校給食費/住宅扶助/その他任意の値	○
43	0180045	認定基準額マスタ管理	実装必須機能	前認定年度の金額・係数を翌認定年度のマスタに複写できること。	○
44	0180046	認定基準額マスタ管理	実装必須機能	【生活保護に準ずる基準額】及び【その他の生活保護に準ずる基準額】の各値の金額は、生活保護基準に基づき、世帯分類(世帯人数、年齢、級地)ごとに設定できること。	○
45	0180047	認定基準額マスタ管理	実装必須機能	【生活保護に準ずる基準額】のうち、生活扶助(第1類費)、生活扶助(第2類費)、通減率については、同一の世帯分類であっても複数の値を設定できること。	○
46	0180049	認定基準額の自動算定	実装必須機能	認定基準額マスタに基づき、世帯ごとに認定基準額を自動で算定できること。なお、認定基準額は以下により算出される。 ・認定基準額＝【生活保護に準ずる基準額】の合計×【認定基準係数】＋【その他の生活保護に準ずる基準額】の合計 ・【生活保護に準ずる基準額】の合計＝生活扶助(第1類費)×通減率＋生活扶助(第2類費)＋生活扶助本体における経過的加算＋冬季加算＋期末一時扶助＋基礎控除＋住宅扶助＋教育扶助＋学校給食費＋通学交通費＋その他任意の値	○
47	0180051	認定基準額の個別変更	実装必須機能	加算・減算を行う調整額を登録することで、算定された認定基準額を個別に変更できること。	○
48	0180052	認定者数シミュレーション	標準オプション機能	生活保護基準や認定基準係数について任意の項目、値を設定し、当該年度及び認定年度における認定者・否認定者数がどのように変動するかシミュレーションができること。	
49	0180053	所得情報連携	実装必須機能	個人住民税システムと連携し、各世帯の世帯員毎の所得情報及び各種控除情報を任意に選択して一括又は個別で取り込み、設定された就学世帯の総所得、合計所得又は収入額を自動で算出・登録できること。	○
50	0180054	所得情報連携	実装必須機能	所得情報は手動でも登録できること。	○
51	0180055	所得情報連携	実装必須機能	個人住民税確定前は前年度の所得情報を基に所得情報を算出できること。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
52	0180056	所得情報連携	実装必須機能	個人住民税確定前は前年度所得が確認できなかった世帯員、個人住民税確定後は当該年度の所得が確認できなかった世帯員について、CSVファイル等で出力できること。	○
53	0180232	所得情報連携	標準オプション機能	個人住民税確定前(審査対象所得年度切替前(並行利用期間を含む))は前年度の所得情報を基に算出できること。	
54	0180057	所得情報連携	標準オプション機能	各世帯員について、年齢を基準として自動的に認定基準額の算定の対象外とする設定が行えること。	
55	0180059	所得情報連携	実装必須機能	個人住民税システムにおける所得情報と、申請情報における所得情報との差異を一覧で確認できること。	○
56	0180060	所得情報連携	実装必須機能	個人住民税システムにおける所得情報と申請情報における所得情報との差異については、申請情報に反映する・しないを選択し、一括又は個別に反映できること。	○
57	0180061	所得情報連携	実装必須機能	個人住民税課税がない、当年1月1日以降の転入者等から提出された所得課税状況書類の内容のうち、就学援助に関連する項目(所得額、課税・非課税区分)を管理(参照・登録・修正・削除)できること。	○
58	0180062	所得情報連携	実装必須機能	算出された所得情報について、一定金額の加算・減算による調整ができること。	○
59	0180063	所得情報連携	実装必須機能	一定金額の加算・減算による所得情報の調整について、調整事由を管理できること。	○
60	0180064	所得情報連携	標準オプション機能	一定金額の加算・減算による所得情報の調整について、対象を選択し一括で実施できること。	
61	0180065	所得情報による仮認定 審査	標準オプション機能	自動算出した世帯総所得又は収入額を基に、児童生徒単位、世帯単位又は申請者全体のシミュレーション(仮認定審査)ができること。	
62	0180066	生活保護に係る情報管理	実装必須機能	生活保護システムと連携し、要保護世帯に係る資格情報(生活保護開始・停止・再開・廃止、該当の状態に移行した年月日、理由、教育扶助・生活扶助の有無、生活保護費から支給した入学準備金支給情報等)を一括又は個別で取り込み、管理(参照・登録・修正・削除)できること。	○
63	0180067	個人住民税に係る情報管理	実装必須機能	個人住民税システムと連携し、各世帯員の個人住民税に係る資格情報(非課税情報、減免情報、扶養情報)を一括又は個別で取込み、管理(参照・登録・修正・削除)できること。	○
64	0180068	国民年金保険料に係る 情報管理	標準オプション機能	国民年金システムと連携し、各世帯員の国民年金保険料に係る資格情報(減免情報)を一括又は個別で取込み、管理(参照・登録・修正・削除)できること。	
65	0180069	国民健康保険法の保険 料に係る情報管理	標準オプション機能	国民健康保険システムと連携し、各世帯員の国民健康保険法の保険料に係る資格情報(減免情報)を一括又は個別で取込み、管理(参照・登録・修正・削除)できること。	
66	0180070	児童扶養手当に係る情 報管理	実装必須機能	児童扶養手当システムと連携し、各世帯員の児童扶養手当に係る資格情報(受給中・一部停止・停止及び停止理由等)を一括又は個別で取込み、管理(参照・登録・修正・削除)できること。	○
67	0180071	固定資産税に係る情報 管理	標準オプション機能	固定資産税システムと連携し、各世帯員の固定資産税に係る資格情報(減免情報)を一括又は個別で取込み、管理(参照・登録・修正・削除)できること。	
68	0180246	兄弟姉妹に係る情報管 理	標準オプション機能	兄弟姉妹(審査に用いる同一世帯に属する児童生徒)がいる場合、審査情報を他の兄弟姉妹に反映する・しないを選択し、反映できること。	○
69	0180072	新入学児童生徒学用品 費等の入学前支給の受 給者抽出	実装必須機能	転入元で新入学児童生徒学用品費等を入学前支給にて受給済みの可能性がある申請者(対象の児童生徒が新小1/新中1で支給条件を満たす者)を、転入日を任意に指定して抽出し、アラート表示及び一覧として出力できること。	○
70	0180073	新入学児童生徒学用品 費等の入学前支給に係 る支給対象外設定	実装必須機能	転入元で新入学児童生徒学用品費等を入学前支給にて受給済みの申請者の場合、受給済みの支給対象費目は対象者ごとに受給済みであることが表示できること。	○
71	0180074	新入学児童生徒学用品 費等の入学前支給に係 る支給対象外設定	標準オプション機能	年度変更に伴い新入学児童生徒学用品費等の支給額が増額した場合は、その差額を支給できること。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
72	0180075	新入学児童生徒学用品費等の入学前支給に係る支給対象外設定	標準オプション機能	年度変更に伴う新入学児童生徒学用品費等の支給差額については、システムへの個別入力・CSVファイル等の一括取込のどちらでも対応可能とすること。	○
73	0180264	支給対象外費目の設定	実装必須機能	支給対象費目の設定の際、生活保護システムから連携した要保護世帯に係る教育扶助及び生活扶助の有無を参照し、支給対象費目を管理(参照・登録・修正・削除)できること。	
74	0180076	認定処理	実装必須機能	認定基準として設定した基準の該当・非該当に基づき、児童生徒ごとに、申請受付日や申請取消受付日等に応じて一括又は個別で認定できること。	○
75	0180077	認定処理	実装必須機能	認定基準マスタ及び児童生徒の認定に係る情報(認定基準の該当・非該当)に基づき、認定結果(認定、否認定、保留)及び理由を設定できること。	○
76	0180247	認定処理	標準オプション機能	以下の場合に認定結果を「保留」とし、自動で理由を設定できること。 ・住民記録システム又は学齢簿管理システムから取り込んだ就学世帯情報と、登録した申請情報に差異がある場合(参考:機能ID 0180024) ・前年度所得が確認できなかった世帯員(個人住民税確定後は当該年度の所得が確認できなかった世帯員)がいる場合(参考:機能ID 0180056) ・学齢簿管理システム上の保護者と就学援助システムの申請者が異なる場合	
77	0180078	認定処理	実装必須機能	保留の場合、保留期間を設定できること。	○
78	0180079	認定処理	実装必須機能	児童生徒ごとの認定結果(認定、否認定、保留(保留期間含む))及び理由をリストとして出力できること。	○
79	0180080	認定区分管理	実装必須機能	認定区分の管理及び認定年度途中での切替えができること。	○
80	0180081	認定区分管理	実装必須機能	認定区分の変更履歴を管理できること。	○
81	0180083	支給予定額算定	実装必須機能	定額支給の費目について、認定区分、在籍校、学年に基づき、支給予定額を対象認定年度ごとに自動で算出できること。	○
82	0180084	支給設定	実装必須機能	支給の停止及び再開を支給者/支給対象費目ごとに管理(参照・登録・修正)できること。	○
83	0180085	認定結果管理	実装必須機能	児童生徒ごとに、認定結果、認定区分、理由、学校長への振込委任有無、認定基準額、支給対象費目、支給予定額、審査日、認定日、認定期間、申請番号、備考情報を管理(参照・登録・修正・削除)できること。	○
84	0180086	認定結果管理	実装必須機能	世帯ごとに支給する必要がある費目は、支給対象費目、支給予定額を世帯ごとに管理(参照・登録・修正・削除)できること。	○
85	0180087	認定結果管理	実装必須機能	学校長への振込委任有無、支給予定額については、支給対象費目ごとにも管理(参照・登録・修正・削除)できること。	○
3. 交付					
86	0180088	認定通知書	実装必須機能	条件(対象者、受付日、認定日、認定区分、在籍校等)を指定して、認定通知書を一括又は個別で申請者宛てに出力できること。	○
87	0180089	認定通知書	実装必須機能	認定通知書は再発行できること。	○
88	0180090	認定通知書	実装必須機能	認定通知書の出力順は条件(郵便番号順、学校順、学年順等)を指定して任意に並び替えができること。	○
89	0180091	保留通知書	実装必須機能	条件(対象者、受付日、保留日、在籍校等)を指定して、保留通知書を一括又は個別で申請者宛てに出力できること。	○
90	0180092	保留通知書	実装必須機能	保留通知書は再発行できること。	○
91	0180093	保留通知書	実装必須機能	保留通知書の出力順は条件(郵便番号順、学校順、学年順等)を指定して任意に並び替えができること。	○
92	0180094	否認定通知書	実装必須機能	条件(対象者、受付日、否認定日、在籍校等)を指定して、否認定通知書を一括又は個別で申請者宛てに出力できること。	○
93	0180095	否認定通知書	実装必須機能	否認定通知書は再発行できること。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
94	0180096	否認定通知書	実装必須機能	否認定通知書の出力順は条件(郵便番号順、学校順、学年順等)を指定して任意に並び替えができること。	○
95	0180097	認定取消通知書	実装必須機能	条件(対象者、受付日、認定取消日、認定区分、在籍校等)を指定して、認定取消通知書を一括又は個別で申請者宛てに出力できること。	○
96	0180098	認定取消通知書	実装必須機能	認定取消通知書は再発行できること。	○
97	0180099	認定取消通知書	実装必須機能	認定取消通知書の出力順は条件(郵便番号順、学校順、学年順等)を指定して任意に並び替えができること。	○
98	0180101	出力設定	実装必須機能	通知書は世帯単位(学校別)の出力とし、個別に出力する場合は、対象世帯の中から通知書の発行対象となる児童生徒を選択できること。	○
99	0180102	出力設定	標準オプション機能	通知書を出力する際に、対象者の申請情報、認定結果情報及び文字切れリストの一覧を出力できること。	
100	0180104	出力設定	標準オプション機能	住民などへ発送する通知書等は、住所表示と共にカスタマバーコードを表示できること。	
101	0180105	出力設定	実装必須機能	認定通知書に記載する支給対象費目及び支給予定額について、学年、認定区分ごとに設定できること。	○
102	0180106	出力設定	実装必須機能	注意情報(支援措置対象者情報等)が設定されている対象者の通知書を発行する際に、発行可否を確認するアラートが表示されること。	○
103	0180107	出力設定	実装必須機能	注意情報(支援措置対象者情報等)は一覧として出力できること。	○
104	0180108	出力設定	実装必須機能	通知書を発行する際に、送付先住所が学齢簿管理システム及び住民記録システム上の住所と異なる場合は、アラートを表示でき、一覧としても出力できること。	○
4. 支給					
105	0180109	振込口座管理	実装必須機能	支給対象者(申請者、学校長、給食センター、医療機関等)ごとに振込先口座を管理(参照・登録・修正・削除)できること。	○
106	0180249	振込口座管理	標準オプション機能	兄弟姉妹(審査に用いる同一世帯に属する児童生徒)がいる場合、口座情報を他の兄弟姉妹に、反映する・しないを選択し、反映できること。	○
107	0180111	振込口座管理	実装必須機能	学校長口座の設定時、支給対象者の在籍校名により学校長口座を読み込むことができること。	○
108	0180112	振込口座管理	実装必須機能	口座情報が未登録の認定者の一覧を出力できること。	○
109	0180113	振込口座管理	実装必須機能	支給する支給対象費目ごとに振込口座を設定できること。	○
110	0180114	振込口座設定	実装必須機能	月途中の転校等を考慮し、一人の児童生徒に対し、複数の学校長口座、給食センター口座を紐づけ、各々に対して支給できること。	○
111	0180115	振込口座設定	実装必須機能	振込先口座は支給対象費目ごとに初期値を設定できること。	○
112	0180116	医療機関マスタ管理	実装必須機能	医療機関情報(医療機関コード・名称・名称フリガナ・代表者名・郵便番号・住所・電話番号・金融機関情報等)をマスタデータとして管理できること。	○
113	0180117	医療費管理	実装必須機能	医療機関から自治体へ送付されるレセプト情報に基づいて医療機関情報、疾病別の医療費等を管理(参照・登録・修正・削除)できること。	○
114	0180118	医療費管理	実装必須機能	医療費のうち通院費は、保護者から提出される領収証等に基づいて、管理(参照・登録・修正・削除)できること。	○
115	0180119	実費支給情報の取り込み	実装必須機能	現物支給又は実費で支給する支給対象費目(学校給食費等)は、支給額が入力されたCSVファイル等を指定して取込み、支給予定額に一括で反映できること。	○
116	0180120	実費支給情報の取り込み	実装必須機能	実費支給額の入力用のCSVファイル等はシステムから出力できること。	○
117	0180121	実費支給情報の取り込み	実装必須機能	実費支給額については上限額を設定でき、取り込んだ実費支給情報について、支給額、支給対象費目、認定日等に齟齬がある場合にエラーが表示されること。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
118	0180123	支給費マスタ管理	実装必須機能	認定年度、在籍校、学年、認定区分ごとに、支給費情報（支給対象費目・支給額（年額、月額、日額）・支給月・金額設定方式・端数計算方式・統計表算入先）及び学校給食費の総額をマスタデータとして管理できること。	○
119	0180124	支給額算定	実装必須機能	在籍校、学年、認定区分、認定日、支給月等に応じて、児童生徒ごとに各支給対象費目の支給額を自動算定し、一括・個別を選択して登録できること。	○
120	0180125	支給額算定	実装必須機能	世帯ごとに支給する必要のある費目は世帯ごとに登録できること。	○
121	0180126	支給額算定	実装必須機能	支給額は手動でも登録できること。	○
122	0180127	支給額設定	標準オプション機能	月途中に転校した児童生徒の定額支給の支給対象費目のうち、学校長又は給食センター払いの費目（学校給食費等）について、支給対象費目ごとに、転校前後の在籍校・給食センターに対する支給額を日割、又は月額を選択して自動で登録できること。なお、日割額は以下により算出される。 日割額＝月額×在籍日数/当該月の総日数（休校日を含む）	
123	0180128	支給額設定	実装必須機能	日割額は手動でも登録できること。	○
124	0180129	支給額設定	実装必須機能	認定区分、学年に応じて支給対象費目毎に支給額を入力できないように制限できること。	○
125	0180130	支給内訳作成	実装必須機能	支給対象者（申請者、学校長、給食センター、医療機関等）への支給内容について、認定区分、支給対象者、支給対象費目、学校、月ごとの一覧を加工可能な形式（CSVファイル等）で出力できること。	○
126	0180131	支給履歴確認	実装必須機能	支給対象者の支給履歴を参照できること。	○
127	0180132	支給履歴確認	標準オプション機能	年度及び認定期間内の累積支給額（申請者単位）を支給対象費目・支給対象者（申請者、学校長、給食センター、医療機関等）・支給日ごとに出力できること。	
128	0180133	支給日管理	実装必須機能	支給日を管理（参照・登録・修正・削除）できること。	○
129	0180134	支給日管理	実装必須機能	支給日は支給対象費目、学校、学年等に応じて、一括・個別を選択して登録できること。	○
130	0180135	支給通知書出力	実装必須機能	支給額に関する明細及び通知書について、一括・個別を選択して出力できること。	○
131	0180136	支給通知書出力	実装必須機能	支給額に関する明細及び通知書について、一括出力を選択した場合、支給日、学校ごとの出力ができること。	○
132	0180137	過年度分支給データ作成	実装必須機能	過年度及び過去の認定年度分の支給データの作成ができること。	○
133	0180138	金融機関マスタ管理	実装必須機能	金融機関マスタデータ（金融機関コード・名称・名称フリガナ・支店番号・支店名・支店名フリガナ）を管理（参照・登録・修正・削除）できること。	○
134	0180139	金融機関マスタ管理	実装必須機能	金融機関マスタデータを一覧で確認できること。	○
135	0180140	金融機関マスタ管理	標準オプション機能	全国銀行協会フォーマットの様式を基に、金融機関マスタデータの一括更新が可能であること。	
136	0180142	銀行振込データ作成	実装必須機能	全国銀行協会フォーマット等に準拠して振込用データを作成できること。	○
137	0180143	銀行振込データ作成	実装必須機能	作成した振込用データは履歴管理できること。	○
138	0180144	銀行振込データ作成	実装必須機能	銀行振込データ作成時に、口座情報が取得できない又は金融機関が存在しない場合、対象者を確認できるエラーリストが出力できること。	○
139	0180145	銀行振込データ作成	実装必須機能	銀行振込データ作成時にエラーリストが出力された場合、振込データは作成できないこと。	○
140	0180147	返納・追給対象者抽出	実装必須機能	異動情報（転出・転校・生保開始、廃止等）を基にして、返納又は追給対象者を抽出し、一覧で確認できること。	○
141	0180148	返納	実装必須機能	過誤支給となった場合、返納処理（返納金額の算出、返納記録の管理）ができること。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
142	0180150	追給	実装必須機能	支給額の不足、漏れがあった場合、追給処理(追給分の振込データ作成、追給記録の管理)ができること。	○
143	0180151	過誤調整管理	実装必須機能	過誤調整情報(金額、事由、結果、振込日、戻入日等)を管理(参照・登録・修正・削除)できること。	○
5. 異動					
144	0180152	新年度データ作成	実装必須機能	前年度の登録情報(就学世帯情報や申請情報等)を引継ぎ、新年度のデータを作成できること。	○
145	0180153	新年度データ作成	実装必須機能	新入学児童生徒学用品費等を当年度に支給している場合は、新年度データに新入学児童生徒学用品費等に係る支給情報も引き継げること。	○
146	0180154	新年度データ作成	実装必須機能	認定年度の始期及び終期(日)を任意に設定できること。	○
147	0180155	過年度データ管理	実装必須機能	過年度及び過去の認定年度の登録情報(就学世帯情報や申請情報等)を管理(参照・登録・修正・削除)できること。	○
148	0180156	異動者管理	標準オプション機能	以下のシステムと連携し、世帯及び世帯員の情報に異動があった場合に、異動情報として履歴管理できること。 住民記録システム/学齢簿管理システム/住登外者宛名番号管理機能/生活保護システム/個人住民税システム/国民年金システム/国民健康保険システム/児童扶養手当システム/固定資産税システム	
149	0180265	異動者管理	実装必須機能	指定期間における以下の異動を抽出できること。 市外転出、市内転居、認定(申請)世帯への一部転入、同世帯合併、同世帯分離、死亡、職権消除等の減異動、住定日異動、住所、方書異動、氏名変更、児童扶養手当資格異動(得喪)、生活保護資格異動(開廃)、学籍情報異動、年齢到達、所得更正、保護者変更 等	○
150	0180251	異動者管理	標準オプション機能	指定期間における以下の異動を抽出できること。 国民年金保険料資格異動(減免情報)、国民健康保険料資格異動(減免情報)、固定資産税(減免情報)	
151	0180158	異動者管理	実装必須機能	抽出対象者の中に就学援助費申請者及び受給者が含まれる場合は、その旨が記載されること。	○
152	0180159	異動者管理	標準オプション機能	異動により、認定基準として設定した基準の該当・非該当が変更となる児童生徒の一覧を出力できること。	
153	0180253	異動者管理	標準オプション機能	兄弟姉妹(審査に用いる同一世帯に属する児童生徒)がいる場合、異動情報を他の兄弟姉妹に反映する・しないを選択し、反映できること。	○
154	0180160	職権修正	実装必須機能	認定年度途中の異動者について、職権による認定区分の変更及び認定の取消処理ができること。	○
155	0180161	職権修正	実装必須機能	職権による認定区分の変更日等の管理(参照・登録)ができること。	○
156	0180162	認定辞退受付	実装必須機能	認定の辞退を受け付け、辞退事由及び辞退受付日、辞退日等を管理(参照・登録・修正・削除)できること。	○
6. その他					
157	0180163	就学援助費申請者一覧出力	実装必須機能	条件(対象者、受付日、認定日、在籍校等)を指定して、申請児童生徒・申請児童生徒数の一覧を一括又は個別で出力できること。	○
158	0180164	転出先自治体連絡票作成	実装必須機能	就学援助費(新入学児童生徒学用品費等の入学前支給を含む)を受給済みで転出した児童生徒がいた場合、転出先自治体への連絡票(氏名、自治体名を含む)が出力されること。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
7. 共通					
159	0180165	EUC機能	実装必須機能	EUC機能(「地方公共団体の基幹業務システムの共通機能に関する標準仕様書」に規定するEUC機能をいう。)を利用して、データの抽出・分析・加工・出力ができること。 EUC機能へ連携するデータ項目は「地方公共団体情報システムデータ要件・連携要件標準仕様書」の「基本データリスト(就学援助システム)」の規定に従うこと。(就学援助システムとEUC機能を一体のパッケージとして構築する場合については、基本データリストに定義されたデータ項目を利用できることを前提に、基本データリスト外のデータ項目の利用も可能とする。) なお、機能別連携仕様にて他業務から取得しているデータ項目については、基本データリストにないデータ項目であっても、データソースの対象とし、データの型、桁数等は連携元である他業務の基本データリストの定義に従う必要がある。	○
160	0180166	ログ取得	実装必須機能	個人情報や機密情報の漏えいを防ぐために、システムの利用者及び管理者に対して、以下のログを取得すること(IaaS 事業者がログについての責任を負っている場合等、パッケージベンダ自体がログを提供できない場合は、IaaS 事業者と協議する等により、何らかの形で本機能が市区町村に提供されるようにすること)。 ● 操作ログ 取得対象:①照会、②帳票発行、③異動入力(履歴追加)、④異動入力(履歴修正)、⑤異動入力(履歴削除)、⑥バッチ処理(帳票作成)、⑦バッチ処理(データ更新)、⑧画面ハードコピー、⑨データ抽出(EUC) ※③から⑤までについては、仮登録及び本登録両方の操作ログを取得できること。 記録対象:操作者ID、日時、ファイル名、端末名、オンラインの場合は対象となったレコード(処理対象者等)・機能名・画面名、バッチについては処理名、処理・交付場所、個人番号へのアクセス有無	○
161	0180167	ログ取得	実装必須機能	● 認証ログ ログイン及びログインのエラー回数等	○
162	0180168	ログ取得	実装必須機能	● イベントログ 就学事務システム(就学援助)内で起こった特定の現象・動作の記録。異常イベントやデータベースへのアクセス等のセキュリティに関わる情報	○
163	0180169	ログ取得	実装必須機能	● 通信ログ Web サーバやWeb アプリケーションサーバ、データベースサーバ等との通信エラー等	○
164	0180170	ログ取得	実装必須機能	● 印刷ログ 印刷者ID、印刷日時、対象ファイル名、印刷プリンタ(又は印刷端末名)、タイトル、枚数、公印出力の有無、個人番号の出力の有無、出力形式(プレビュー、印刷、ファイル出力等)、通知書の場合には発行番号等の情報	○
165	0180171	ログ取得	実装必須機能	● 設定変更ログ 管理者による設定変更時の情報	○
166	0180172	ログ取得	実装必須機能	● エラーログ 就学事務システム(就学援助)上でエラーが発生した際の記録。	○
167	0180173	ログ分析	実装必須機能	取得したログは、市区町村が定める期間保管するとともに、オンラインでの検索・抽出・照会、EUC 機能を用いた後日分析が簡単にできること。	○
168	0180174	ログ分析	実装必須機能	システム利用者や第三者によるログの改ざんがされないよう、書き込み禁止等の改ざん防止措置がされること。	○
169	0180175	ログ分析	実装必須機能	システムの利用者及び管理者のログについては、以下の分析例の観点等から分析・ファイル作成ができること(IaaS 事業者がログについての責任を負っている場合等、パッケージベンダ自体がログを提供できない場合は、IaaS 事業者と協議する等により、何らかの形で本機能が市区町村に提供されるようにすること)。 [分析例] ・深夜・休業日におけるアクセス一覧 ・ログイン失敗一覧 ・ID 別ログイン数一覧 ・大量検索実行一覧 ・宛名番号等から該当者の検索実行一覧	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
170	0180176	アクセス権限管理	実装必須機能	システムの利用者及び管理者に対して、個人単位でID 及びパスワード、利用者名称、所属部署名称、操作権限（異動処理や表示・閲覧等の権限）、利用範囲及び期間が管理できること。	○
171	0180177	アクセス権限管理	実装必須機能	職員のシステム利用権限管理ができ、利用者とパスワードを登録し利用権限レベルが設定できること。	○
172	0180178	アクセス権限管理	実装必須機能	ユーザID とパスワードにより認証ができ、パスワードは利用者による変更、システム管理者による初期化ができること。	○
173	0180180	アクセス権限管理	実装必須機能	アクセス権限の付与は、利用者単位で設定できること。	○
174	0180182	アクセス権限管理	実装必須機能	アクセス権限の設定はシステム管理者により設定できること。	○
175	0180183	アクセス権限管理	実装必須機能	アクセス権限の付与も含めたユーザ情報の登録・変更・削除はスケジュールーに設定し、事前に準備ができること。	○
176	0180184	操作権限管理	実装必須機能	事務分掌による利用者ごとの表示・閲覧項目及び実施処理の制御ができること。	○
177	0180185	操作権限管理	実装必須機能	他の職員が申請情報の入力・異動作業をしている間は、同一の申請者情報について、閲覧以外の作業ができないよう、排他制御ができること。	○
178	0180186	操作権限管理	実装必須機能	操作権限管理については、個別及び一括での各種制御やメンテナンスができること。	○
179	0180188	操作権限管理	実装必須機能	操作権限はバッチ処理で一括メンテナンスできること。	○
180	0180189	二要素認証	実装必須機能	ID パスワードによる認証に加え、IC カードや静脈認証等の生体認証を用いた二要素認証に対応すること。	○
181	0180190	強制終了	実装必須機能	複数回のアクセスの失敗に対して、アカウントロック状態にできること。	○
182	0180191	操作権限設定	実装必須機能	システムの利用者及び管理者に対する個人単位での操作権限においては、他課参照や異動・証明を含む全ての画面にて、「個人番号」の項目を表示又は非表示に設定できること。	○
183	0180192	ヘルプ機能	実装必須機能	システムの操作方法や運用方法等について、マニュアルを有していること。	○
184	0180193	ヘルプ機能	実装必須機能	ヘルプ機能として、操作画面上から、当該画面の機能説明・操作方法等が確認できるオンラインマニュアル（画面上に表示されるマニュアル類）が提供されること。	○
185	0180195	印刷設定	実装必須機能	出力部数を設定できること。	○
186	0180196	印刷設定	実装必須機能	帳票発行時にプレビュー機能を保有すること。	○
187	0180197	印刷設定	実装必須機能	帳票等の印刷のため、当該帳票等のデータについてCSV形式のテキストファイルを作成し、出力できること。	○
188	0180198	印刷設定	実装必須機能	二次元コード（カスタマーバーコードを含む。）については、二次元コードの値をファイルに格納すること。	○
189	0180199	印刷設定	標準オプション機能	帳票等の印刷のため、当該帳票等のデータ（外字情報を含む。）について印刷イメージファイル（PDF形式等）を作成し、出力できること。	
190	0180200	印刷設定	実装必須機能	就学事務システム（就学援助）内部でアクセスログの取得が可能な形で、表示画面のハードコピー機能及びハードコピーの印刷機能を有すること。	○
191	0180201	印刷設定	実装必須機能	氏名や住所等の印刷域桁数を超過したものについては、帳票発行時に超過内容を記載したリストを出力できること。	○
192	0180202	個人番号管理	実装必須機能	申請者から提示された個人番号情報の管理（参照・登録・修正・削除）ができること。	○
193	0180217	団体内統合宛名機能との連携	実装必須機能	団体内統合宛名機能（「地方公共団体情報システム共通機能標準仕様書」に規定する団体内統合宛名機能をいう。以下同じ。）における団体内統合宛名番号の付番や宛名情報の更新のために、登録、更新した宛名情報及び個人番号を団体内統合宛名機能へ連携できること。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
194	0180218	団体内統合宛名機能との連携	実装必須機能	団体内統合宛名機能を経由して、副本情報の登録等、中間サーバーとの連携ができること。なお、中間サーバーとの連携のうち、中間サーバーから取得したURLを元にHTTPダウンロードする場合は、団体内統合宛名機能を経由せず連携すること。	○
195	0180206	エラー・アラート項目	実装必須機能	論理的に成立し得ない入力その他の抑止すべき入力等は、エラー（※）として抑止すること。エラーは、当該内容で本登録することを抑止することが目的であり、その実装方法としては、エラーメッセージを表示し、次の画面に進めないようにすることも、エラーメッセージの表示によらず、そもそも入力不可とすることで対応することも差し支えない。また、仮登録段階でエラーメッセージを表示して抑止することも、本登録段階でエラーメッセージを表示して抑止することも、いずれもエラーの実装方法として許容される。 論理的には成立するが特に注意を要する入力等は、アラート（※）として注意喚起すること。 ※エラー：論理的に成立し得ない入力その他の抑止すべき入力等について、抑止すべき原因が解消されるまで、当該入力等を確定（本登録）できないもの。 ※アラート：論理的には成立するが特に注意を要する入力等について、注意喚起の表示を経た上で、当該入力等を確定できるもの。	○
196	0180207	エラー・アラート項目	実装必須機能	エラー・アラートとする場合は、原因となったエラー・アラート項目と理由・対応方法を入力者に適切に伝えること。	○
197	0180208	検索対象	実装必須機能	就学管理に係る諸情報（受給状況、資格等）及び異動履歴（特記事項（メモ）等を含む）を照会できること。	○
198	0180209	検索条件	実装必須機能	氏名（漢字・カナ振り仮名（フリガナ）・通称名）、生年月日、学年、学校名、宛名番号、世帯番号、申請番号、マイナンバー等での検索ができること。	○
199	0180219	検索条件	実装必須機能	氏名に関する検索は、住民記録システム標準仕様書に準拠した「あいまい検索」（異体字や正字も包含した検索を除く。）ができること。	○
200	0180210	検索条件	実装必須機能	検索結果は並び替え（降順／昇順等）ができること。	○
201	0180211	検索条件	実装必須機能	検索結果表示件数の設定ができ、検索結果が設定件数を超えるとメッセージが表示されること。	○
202	0180212	検索履歴	実装必須機能	過去に検索した条件を保持することができ、保持している条件を利用して検索できること。	○
203	0180260	他基幹業務システムとの連携	実装必須機能	以下の他基幹業務システム等へ情報を照会できること。 ・住基システムに、住基情報を照会する。 ・住基システムに、支援措置対象者情報を照会する。 ・学齢簿管理システムに、児童生徒情報、就学履歴情報、学年情報、学校情報を照会する。 ・申請管理システムに、申請情報を照会する。 ・個人住民税システムに、課税情報、控除情報、扶養情報、所得情報、納税義務者情報を照会する。 ・生活保護システムに、生活保護世帯情報、生活保護個人情報、生活保護進学準備給付金情報を照会する。 ・個人住民税システムに、減免情報を照会する。 ・児童扶養手当システムに、受給者情報、判定情報を照会する。	○
204	0180261	他基幹業務システムとの連携	標準オプション機能	以下の他基幹業務システム等へ情報を照会できること。 ・国民年金システムに、減免情報を照会する。 ・国民健康保険システムに、減免情報を照会する。 ・固定資産税システムに、減免情報を照会する。	
205	0180262	他基幹業務システムとの連携	標準オプション機能	以下の他基幹業務システム等に情報を提供できること。 ・学齢簿管理システムに、審査情報を提供する。 ・財務会計システムに、銀行振込データとして作成した支払情報を提供する。 ・給食費管理システムに、就学援助情報を出力する時点で最新の就学援助受給情報を提供する。 ・就学奨励システムに、就学援助情報を出力する時点で最新の就学援助受給情報を提供する。	
206	0180267	他基幹業務システムとの連携	実装必須機能	住登外宛名番号の付番・管理に関して、以下の処理ができること。 ・住登外者宛名番号管理機能（「地方公共団体情報システム共通機能標準仕様書」に規定する住登外者宛名番号管理機能をいう。）に対して対象者を照会し、照会結果を表示できること。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
207	0180268	他基幹業務システムとの連携	実装必須機能	住登外宛名番号の付番・管理に関して、以下の処理ができること。 ・住登外者宛名番号の付番に際し、住登外者宛名番号管理機能より受領した照会結果に対象者が含まれる場合は、該当する住登外者宛名番号を当該対象者の宛名番号として管理し、その選択結果を住登外者宛名番号管理機能に対して連携できること。照会結果に対象者が含まれていない場合は、住登外者宛名番号管理機能に対して住登外者宛名番号の付番依頼ができること。	○
208	0180269	他基幹業務システムとの連携	実装必須機能	住登外宛名番号の付番・管理に関して、以下の処理ができること。 ・登録、更新した住登外者の宛名情報を住登外者宛名番号管理機能に対して連携できること。	○
209	0180222	保存期間を経過した情報の削除	実装必須機能	法令年限及び業務上必要な期間(保存期間)を経過した情報について、システムから物理削除できること。個人番号利用事務においては、保存期間を経過した場合には、個人番号及び関連情報を標準準拠システムからできるだけ速やかに削除できること。	○
210	0180223	保存期間を経過した情報の削除	実装必須機能	機能ID 0180222に定める情報の保存期間は、各地方公共団体が任意で指定できること。	○
211	帳票要件	認定結果一覧表	追加要件	認定結果一覧表が出力できること。(EUC対応可)	
212	帳票要件	学校別学年別認定結果集計表	追加要件	学校別学年別認定結果集計表が出力できること。(EUC対応可)	○
213	帳票要件	振込内訳書(費目別)	追加要件	振込内訳書(費目別)が出力できること。(EUC対応可)	○
214	帳票要件	振込確認リスト(学校別)	追加要件	振込確認リスト(学校別)が出力できること。(EUC対応可)	
215	帳票要件	振込通知書(医療機関宛)	追加要件	振込通知書(医療機関宛)が出力できること。(EUC対応可)	○
216	帳票要件	学校別費目別集計表	追加要件	学校別費目別集計表が出力できること。(EUC対応可)	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
1	0180001	就学援助費申請者一覧	標準オプション機能	就学援助費申請者の確認・把握のための一覧	○
2	0180002	就学援助費申請者世帯票	実装必須機能	申請書の記載内容の確認、及び申請世帯状況の確認のための帳票	○
3	0180003	就学援助認定結果一覧	実装必須機能	認定区分別に認定者数を把握するための一覧	○
4	0180004	就学援助学校別認定・否 認定者数一覧	実装必須機能	学校別に認定・否認定者数を把握するための一覧	○
5	0180005	新入学児童生徒学用品費等 対象者一覧	実装必須機能	新入学児童生徒学用品費等の対象者となった申請者を把握するための一覧	○
6	0180006	就学援助費認定通知書	実装必須機能	就学援助対象者として認定された申請者への通知書	○
7	0180007	就学援助費否認定通知 書	実装必須機能	就学援助対象外となり否認定となった申請者への通知書	○
8	0180008	就学援助費保留通知書	実装必須機能	審査に必要な情報に不足があり、認定保留となった申請者への通知書	○
9	0180009	就学援助費認定取消通 知書	実装必須機能	対象者に就学援助費の認定が取り消されたことを通知するための帳票	○
10	0180010	異動者一覧（住民税、生 活保護、世帯異動、児童 扶養手当、学籍等）	実装必須機能	就学援助費の認定取消、又は区分変更等の対象者を確認するための一覧	○
11	0180011	児童生徒個人別支給調 書	実装必須機能	就学援助認定者を管理（各児童生徒の支給額・支給予定額、振込先口座 情報等）するための帳票	○
12	0180012	支給通知書対象者一覧	実装必須機能	支給通知書の送付管理・確認等のための一覧	○
13	0180013	就学援助費支払明細	実装必須機能	児童生徒毎の支給明細の出力および管理等のための一覧	○
14	0180014	就学援助費支給通知書 （保護者向け）	実装必須機能	対象者に就学援助費の支給額を通知するための帳票	○
15	0180015	就学援助費支給通知書 （学校長向け・給食セン ター向け）	実装必須機能	学校長・給食センターに就学援助費の支給額を通知するための帳票	○
16	0180020	児童生徒医療費集計表	実装必須機能	児童生徒ごと・所属校ごとの治療費の総計、疾病ごとの医療費、人数の集計の ための帳票	○
17	0180021	就学援助費児童生徒総 括表（認定者データ一 覧）	実装必須機能	就学援助認定者の確認及び集計のための一覧	○
18	0180022	就学援助費支給内訳総 括表	実装必須機能	就学援助費の支給内訳の総括結果の把握のための帳票	○
19	0180023	学校費目別支給状況表	実装必須機能	各学校での費目別の支給額・支給状況の把握のための帳票	○
20	0180024	統計帳票（就学援助実施状 況・学用品費等）	実装必須機能	学用品費に関する就学援助実施の状況把握・統計のための帳票	○
21	0180025	統計帳票（就学援助実 施状況・医療費）	実装必須機能	医療費に関する就学援助実施の状況把握・統計のための帳票	○
22	0180026	統計帳票（就学援助実 施状況・給食費）	実装必須機能	学校給食費に関する就学援助実施の状況把握・統計のための帳票	○
23	0180027	転出先自治体連絡票	実装必須機能	就学援助費を受給していたことを転出先自治体に通知するための帳票	○
24	0180028	口座振込依頼一覧	実装必須機能	金融機関向けに作成された口座振込データの一覧	○
25	0180029	各通知書発送者文字切れリス ト	標準オプション機能	文字溢れや未登録外字が生じた対象者を出力したリスト	
26	0180030	新規申請対象者一覧／継続 申請対象者一覧	標準オプション機能	新規申請対象者及び継続申請対象者（氏名、住所等）の一覧	
27	0180031	自動継続処理者一覧	実装必須機能	認定期間末日時点の認定者のうち、自動継続処理された者の一覧	○
28	0180032	継続認定未申請者一覧	実装必須機能	認定期間末日時点の認定者のうち、自動継続処理されていない者かつ当該年 度に申請が無い者の一覧	○
29	0180033	継続認定世帯員異動者 一覧	実装必須機能	住民記録システム上の世帯員と就学事務システム上の世帯員が異なる世帯の 児童生徒の一覧	○
30	0180034	オンライン申請者一覧	実装必須機能	オンライン申請の申請データの申請処理状況(処理中、要再申請、完了、却 下、取り下げのステータス) の一覧	○
31	0180035	所得未確認者一覧	実装必須機能	前年度所得または当該年度の所得が確認できなかった世帯員の一覧	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義 【実装必須機能】 【標準オプション機能】	機能要件	必須
32	0180036	認定通知書等対象者一覧	標準オプション機能	対象者の申請情報及び認定結果情報の一覧	
33	0180037	注意情報設定者一覧	実装必須機能	注意情報（支援措置対象者情報等）が設定されている対象者の一覧	○
34	0180038	送付先確認リスト	実装必須機能	通知書の送付先住所が学齢簿管理システム及び住民記録システム上の住所と異なる児童生徒の送付先を出力したリスト	○
35	0180039	支給対象者別支給内容一覧	実装必須機能	支給対象者（申請者、学校長、給食センター、医療機関等）への支給内容の 一覧	○
36	0180040	口座情報未登録者一覧	実装必須機能	口座情報が未登録の認定者の一覧	○

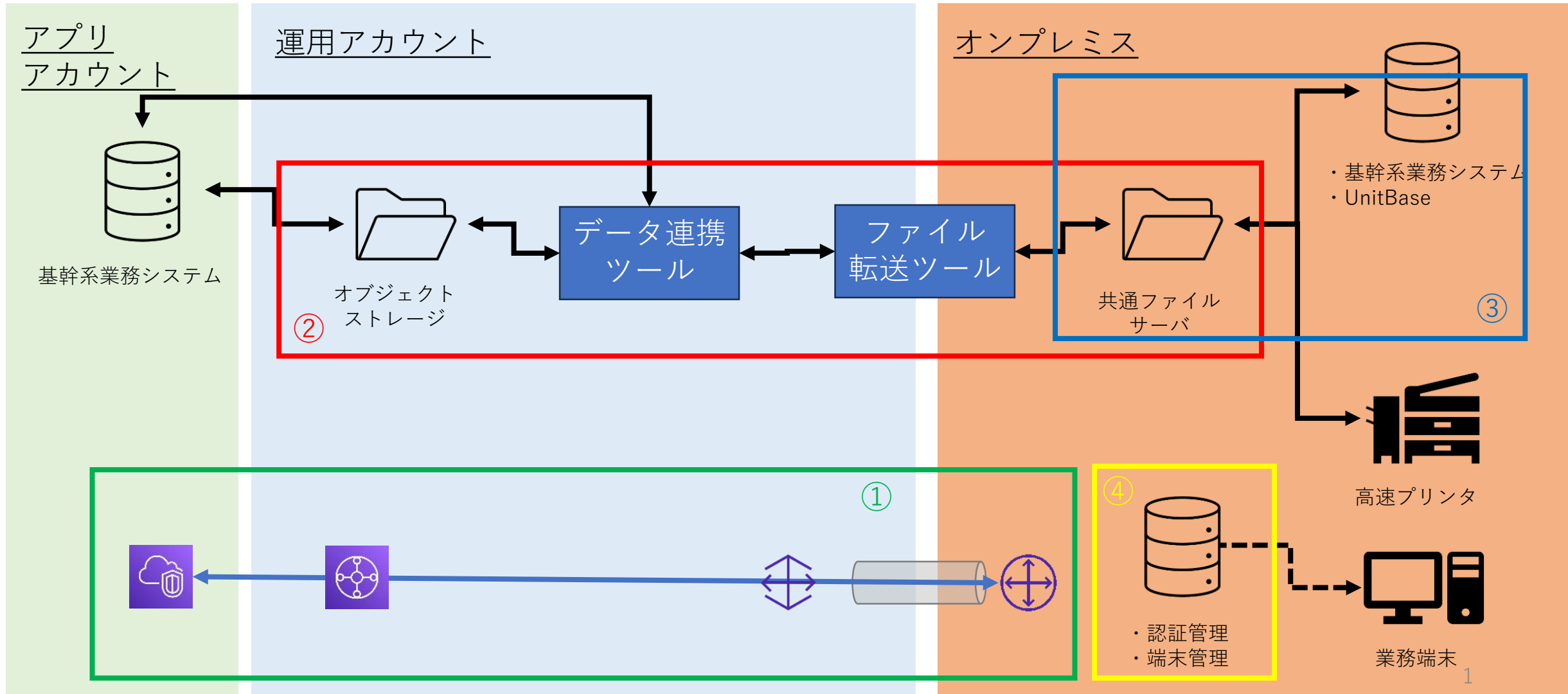
項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義	機能要件	必須
1		住基情報取込機能	就学援助との併給機能等による利用	基幹システム側の住民基本台帳の情報を取り込むことができること。	○
2		住基情報取込機能	就学援助との併給機能等による利用	取込処理を行った結果を確認できること。	○
3		課税情報取込機能	就学援助との併給機能等による利用	基幹システム側の課税（所得）の情報を取り込むことができること。	○
4		課税情報取込機能	就学援助との併給機能等による利用	取込処理を行った結果を確認できること。	○
5		学齢簿情報取込機能	就学援助との併給機能等による利用	児童・生徒情報、及び保護者等の学齢簿の情報について取り込むことができること。	○
6		学齢簿情報取込機能	就学援助との併給機能等による利用	取込処理を行った結果を確認できること。	○
7		申請受付機能	就学援助との併給機能等による利用	特別支援教育就学奨励費の受付登録（新規登録・修正・取消）ができること。	
8		申請受付機能	就学援助との併給機能等による利用	取り込みを行った学齢簿・住基情報を基に、個々に申請書の受付登録ができること。	○
9		申請受付機能	就学援助との併給機能等による利用	住登外者や外国人についても申請書の受付登録ができること。	○
10		申請受付機能	就学援助との併給機能等による利用	特別支援学級と通級を分けて受付することができること。	
11		申請情報管理機能	就学援助との併給機能等による利用	申請者情報（氏名、氏名カナ、通称、通称カナ、生年月日、年齢、性別、続柄、申請日、住所「住民票住所、現住所、別住所」、住基個人番号、住基世帯番号、電話番号、職業・勤務先、級地区分）を管理することができること。	
12		申請情報管理機能	就学援助との併給機能等による利用	申請者の口座情報を複数管理することができること。	
13		申請情報管理機能	就学援助との併給機能等による利用	児童生徒情報（氏名、氏名カナ、通称、通称カナ、生年月日、性別、学年、就学校、住基個人番号、住基世帯番号、住基異動事由）を管理することができること。	
14		申請情報管理機能	就学援助との併給機能等による利用	世帯情報（氏名、氏名カナ、生年月日、性別、続柄、住基個人番号、住基世帯番号、課税区分、未申告区分、住登外区分、所得額、基準額、市民税、別居、入所、住基異動事由）を管理することができること。	
15		申請情報管理機能	就学援助との併給機能等による利用	申請者の住所として住民票住所、現住所、別住所の登録ができ、通知書等の送付先を指定できること。	
16		申請情報管理機能	就学援助との併給機能等による利用	同一住所に居住している住基上の別世帯を参照し、世帯情報の世帯員として追加できること。	○
17		申請情報管理機能	就学援助との併給機能等による利用	取り込みを行った住基情報を用いて、児童生徒情報、世帯情報の追加・修正ができること。	○
18		申請情報管理機能	就学援助との併給機能等による利用	取り込みを行った課税情報を用いて、世帯情報の課税区分、未申告区分、所得額、市民税の入力ができること。	○
19		申請情報管理機能	就学援助との併給機能等による利用	取り込みを行った学齢簿情報を用いて、児童生徒情報の学年、就学校の入力ができること。	○
20		申請情報管理機能	就学援助との併給機能等による利用	児童生徒情報、世帯情報を手入力で追加・修正できること。	
21		申請情報管理機能	就学援助との併給機能等による利用	年度途中で、最新課税年度の課税（所得）の情報を申請書へ反映できること。	
22		申請情報管理機能	就学援助との併給機能等による利用	任意の項目（オプション項目）を登録することができること。	
23		申請情報管理機能	就学援助との併給機能等による利用	D V 対象かどうかの判別ができること。	○
24		申請情報管理機能	就学援助との併給機能等による利用	児童生徒、世帯員毎にコメントを登録できること。	

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義	機能要件	必須
25		申請情報管理機能	就学援助との併給機能等による利用	支弁区分（支弁区分Ⅰ・支弁区分Ⅱ・支弁区分Ⅲ）が登録でき、区別できること。	○
26		申請情報管理機能	就学援助との併給機能等による利用	兄弟の申請・認定・支給状況を一覧形式で確認できること。	
27		申請情報管理機能	就学援助との併給機能等による利用	区域外就学者の登録ができること。	○
28		申請情報管理機能	就学援助との併給機能等による利用	申請書に児童生徒を入力する際には、既にほか申請書（就学援助費・就学奨励費）に登録されていないかチェックを行い、重複していた場合はどの申請書に登録されているか確認することができること。	○
29		申請情報管理機能	就学援助との併給機能等による利用	特別支援学級と通級を分けて管理することができること。	○
30		申請情報検索機能	就学援助との併給機能等による利用	申請情報で以下の条件を指定して複合検索・表示できること。 （申請年度、登録種別、申請者情報「氏名、氏名カナ、通称名、通称名カナ、生年月日、性別、住基個人番号、住基世帯番号」、児童生徒情報「氏名、氏名カナ、通称名、通称名カナ、生年月日、性別、住基個人番号、住基世帯番号、就学校、学年」、支給費種別、申請日、確定日、審査結果、支弁区分、課税区分、生活保護情報「受給開始日、受給終了日」、振込先口座情報「金融機関、支店」）	
31		申請情報検索機能	就学援助との併給機能等による利用	任意の項目（オプション項目）で検索することができること。	
32		申請情報検索機能	就学援助との併給機能等による利用	申請者の一覧が印刷できること。	○
33		認定機能	就学援助との併給機能等による利用	申請者世帯の生活保護基準額を算出し、任意の認定基準係数をかけることで認定基準額を算出できること。	○
34		認定機能	就学援助との併給機能等による利用	算出した認定基準額をもとに認定・否認定の認定審査を行うこと。	○
35		認定機能	就学援助との併給機能等による利用	申請書の入力漏れや所得未申告など認定審査ができない場合は審査保留とすることができること。	○
36		認定機能	就学援助との併給機能等による利用	認定審査は支給費種別（就学援助・就学奨励）ごとに申請年月日、学校、学年、指定した児童生徒単位など、検索した単位（個別・一括）で処理できること。	
37		認定機能	就学援助との併給機能等による利用	随時、認定審査処理ができること。	○
38		認定機能	就学援助との併給機能等による利用	認定審査後に審査結果（認定、否認定、保留、辞退、取消）を登録できること。	
39		認定機能	就学援助との併給機能等による利用	審査結果を任意で変更することができること。（認定⇒否認定など）	○
40		認定機能	就学援助との併給機能等による利用	認定登録した際に、設定した費目が登録され、年間の支給計画が作成されること。	
41		認定機能	就学援助との併給機能等による利用	認定審査結果を印刷できること。	○
42		支給機能	就学援助との併給機能等による利用	指定した条件（支給年月、口座振込日、費目、学校、学年、医療機関、振込先口座）で全銀協の総合振込フォーマットでファイルを作成することができること。	
43		支給機能	就学援助との併給機能等による利用	個別に支給計画（支給金額、支給対象月、口座区分（保護者、学校、医療機関の別））を変更することができること。	○
44		支給機能	就学援助との併給機能等による利用	過誤払金について返納入力ができること。	○
45		支給機能	就学援助との併給機能等による利用	返納に対する収納・未納の管理ができる。（収納があった場合に返納に対する収納情報を入力できる）その際、分納できること。	
46		支給機能	就学援助との併給機能等による利用	年度途中での支給停止の入力ができること。	○
47		支給機能	就学援助との併給機能等による利用	特別支援学級と通級を分けて支給することができること。	○
48		年次処理機能	就学援助との併給機能等による利用	不要となった過去データを削除できること。	○

項番	標準仕様書 機能ID	機能名称	標準仕様書定義	機能要件	必須
49		継続申請登録管理	就学援助との併給機能等による利用	該当者を個別に選択し、当年度の申請書データを基に次年度の申請書データを一括で作成することができること。	
50		使用者管理	就学援助との併給機能等による利用	使用者ごとにパスワードを付与することができること。	○
51		使用者管理	就学援助との併給機能等による利用	使用者でパスワードを変更することができること。	○
52		学校・外部機関管理	就学援助との併給機能等による利用	学校情報を管理することができること。（学校名、所在地、学校区分、学校長口座情報）	○
53		学校・外部機関管理	就学援助との併給機能等による利用	金融機関情報を管理することができること。（金融機関コード、金融機関名、金融機関名カナ、支店コード、支店名、支店名カナ）	○
54		費目・認定基準管理	就学援助との併給機能等による利用	費目情報を管理することができること。（費目名称、初期表示口座、支弁区分、学年）	○
55		費目・認定基準管理	就学援助との併給機能等による利用	費目情報は任意の費目を追加ができること。	○
56		費目・認定基準管理	就学援助との併給機能等による利用	費目毎、学校毎、学年毎に支給金額を管理することができること。（支給方法、支給金額、支給対象月）	○
57		費目・認定基準管理	就学援助との併給機能等による利用	認定基準額の算定に必要な情報を管理できること。（生活扶助（第一類、第二類、逡減率）、期末一時扶助、教育扶助、住宅扶助、母子加算、障害者加算）	○
58		費目・認定基準管理	就学援助との併給機能等による利用	認定区分ごとの情報を管理できること。（支弁区分、認定基準係数）	○
59		費目・認定基準管理	就学援助との併給機能等による利用	控除額を管理することができること。（基礎控除額、特別控除額）	○
60		データ・住所管理	就学援助との併給機能等による利用	EUC機能により任意の情報を抽出することができること。	○
61		データ・住所管理	就学援助との併給機能等による利用	日本郵便の郵便番号データを取り込むことでシステム内の郵便番号情報を自動更新できること。	
62		その他	就学援助との併給機能等による利用	操作ヘルプの内容を管理することができること。	
63		その他	就学援助との併給機能等による利用	通知書に出力される文言を変更することができること。	○
64		その他	就学援助との併給機能等による利用	任意の項目（オプション項目）の名称、入力形式（テキスト入力、プルダウン入力、カレンダー入力）を変更することができること。	
65		帳票要件	追加要件	審査結果確認一覧表が出力できること。（EUC対応可）	
66		帳票要件	追加要件	振込確認リスト（学校別）が出力できること。（EUC対応可）	
67		帳票要件	追加要件	振込確認リスト（個人別）が出力できること。（EUC対応可）	

別紙3 共通基盤の活用について

次期共通基盤（概要）

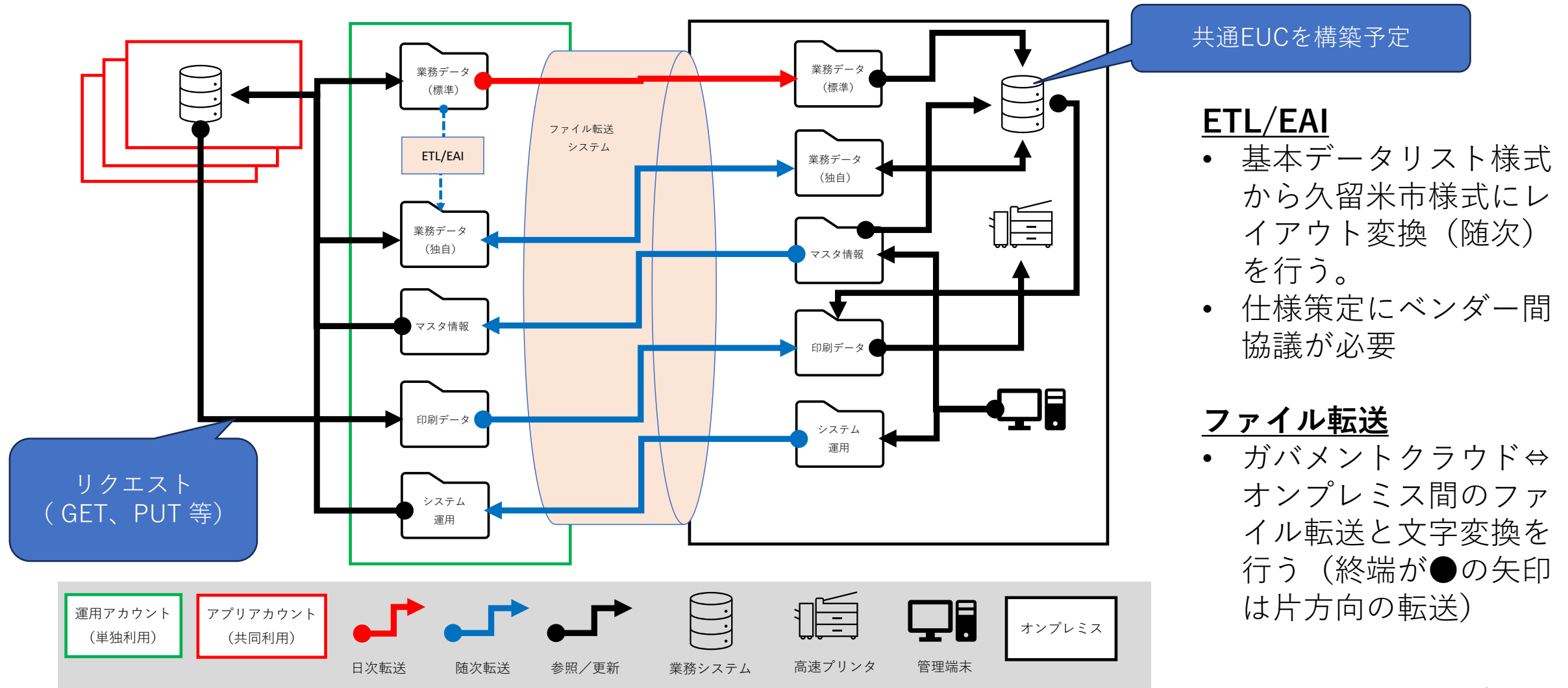


次期共通基盤に関する委託内容

	委託内容
①ガバメントクラウド接続	・ オンプレミス環境とガバメントクラウド（アプリアカウント）をつなぐための「運用アカウント」に構築するネットワークの構築と保守。 ・ 「運用アカウント」（単独利用方式）の運用管理補助。 ・ ガバメントクラウド接続のための回線提供
②ファイル連携管理	・ システム間で連携する業務データについて、オブジェクトストレージ（ガバメントクラウド）と共通ファイルサーバ（オンプレミス）間で転送するための機能の構築と保守を行うこと ・ ファイル転送時に必要に応じて文字変換を行うこと ・ 一部の業務データについてフォーマット変換を行うこと
③サーバ管理 （オンプレミス）	・ 基幹系業務システム（オンプレミス）のサーバ構築と保守を行うこと ・ サーバ時刻同期のための機能を提供すること ・ ウイルス対策（Windowsサーバ用のウイルスソフトは本市で別途調達）を行うこと ・ ハードウェア障害監視を行うこと ・ バックアップ／リストア管理（現行はLTOによるバックアップとリストアを実装）を行うこと
④クライアント管理 （オンプレミス）	・ 業務システム端末へのログインに必要な認証（二要素認証）を行うための機能を提供すること ①ユーザー管理 ②生体認証管理 ・ ウイルス対策（Windows用のウイルスソフトは本市で別途調達）を行うこと ・ 情報漏えい、内部不正リスク等のセキュリティ対策の一環として、業務システム端末に外部デバイス（USBメモリ等）を接続することを制御（原則禁止、申請による許可制）するための機能を提供すること ・ （参考）現行はActive Directoryの機能により以下の制約を実施している ①コントロールパネルは非表示 ②ローカルディスクへのデータ保存は禁止 ③ネットワーク環境の設定変更は禁止 ④スタートメニュー、タスクメニューについて、不要なアイコンは非表示 ・ 業務端末へのログイン情報と操作内容を取得できること（監査証跡）＊アプリについては業務システム側で実施

補足) ②ファイル連携管理

ファイル連携管理イメージ図



ファイル転送について

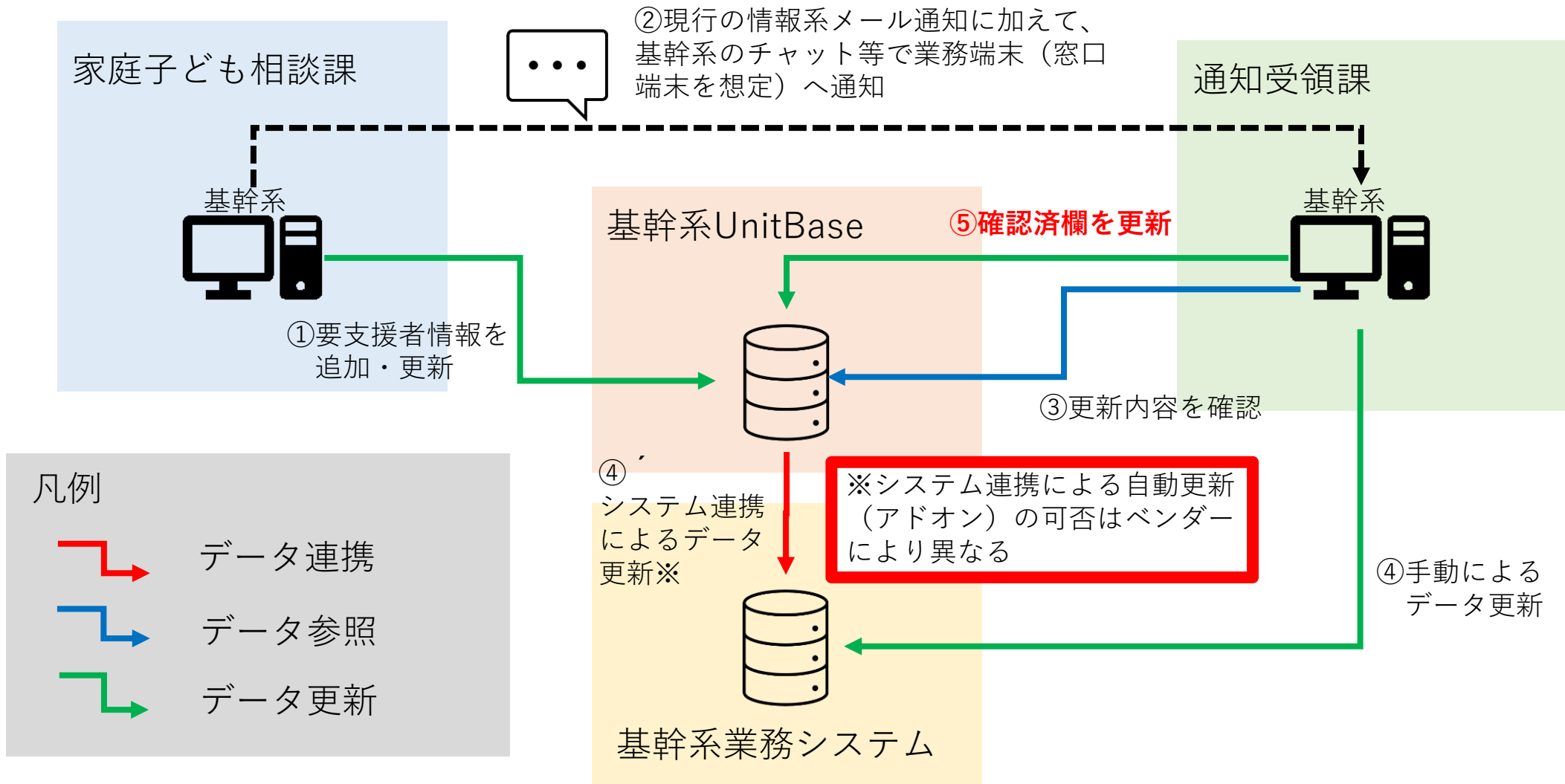
1. イメージ図中の「業務データ（標準）」フォルダに格納されたファイルについて、片方向に転送を行う（ガバメントクラウド⇒オンプレミス）。400フォルダ（20×20）を転送対象（実装時は、オンプレに設置する個別システム（UnitBase含む）のみを連携対象とする予定）とする。
2. イメージ図中の「業務データ（独自）」フォルダに格納されたファイルについて、双方向に転送を行う（オンプレミス⇄ガバメントクラウド）。以下の5メッセージを対象とする。
 - ・ 住基情報メッセージ
 - ・ 個人住民税情報メッセージ
 - ・ 支援措置対象者情報
3. イメージ図中の「印刷データ」フォルダに格納されたファイルについて、片方向に転送を行う（ガバメントクラウド⇒オンプレミス）。以下の資料に記載されたファイル（レイアウト）を対象とする。
4. イメージ図中の「マスタ情報」フォルダに格納されたファイルについて片方向に転送を行う。（オンプレミス⇒ガバメントクラウド）
5. イメージ図中の「システム運用」フォルダに格納されたファイルについて片方向に転送を行う。（オンプレミス⇒ガバメントクラウド）「システム運用」フォルダには、業務別のフォルダが存在し、個別の転送設定が必要（フォルダ数は20とする）。

レイアウト変換について

資料1_主な他システム連携一覧の「メッセージ」に、表中のメッセージ名が記載された連携についてレイアウト変換を実施する。その他の連携は、レイアウト変換を行わず、ファイル転送と文字変換を行うこととする。

メッセージ名	転送元レイアウト	転送先レイアウト
住基情報メッセージ	・データ要件・連携要件の標準仕様（基本データリストに定義された項目） ・提供システムが出力可能な項目（一体型パッケージ等の場合）	住基情報メッセージCSVファイル
個人住民税情報メッセージ		個人住民税情報メッセージCSVファイル
支援措置対象者情報	未定（提供システムと協議）	支援措置対象者情報CSVファイル

➤ 次期住登外要支援者管理



【別紙4】主な他システム連携一覧

No	提供元システム名	業務名	データ名(大項目)	連携先システム名	業務名	連携頻度	備考
1	学齢簿システム	学齢簿	①児童生徒情報 ②学校情報 ③学年情報 ④就学履歴情報	就学援助システム (特別支援教育就学奨励費含む)	就学援助 特別支援教育就学奨励費	即時 もしくは 日次	
2	学齢簿システム	学齢簿	学齢簿情報	校務支援システム	校務支援	日次	
3	学齢簿システム	学齢簿	学齢簿情報	学校徴収金システム	学校徴収金	—	利用しない
4	学齢簿システム	学齢簿	学齢簿情報	給食費管理システム	給食費管理	—	利用しない
5	学齢簿システム	学齢簿	①住登外者宛名基本情報 ②住登外者宛名番号付番依頼 ③住登外者宛名基本情報照会依頼 ④住登外者宛名基本情報(住民宛名番号引継ぎ)	住登外者宛名番号管理機能	住登外者宛名番号管理	即時 もしくは 日次	
6	学齢簿システム	学齢簿	学齢簿情報	特別支援教育就学奨励費システム	特別支援教育就学奨励費	即時 日次	

【別紙4】主な他システム連携一覧

7	学齢簿システム	学齢簿	①小学校区マスタ ②中学校区マスタ	住民記録システム	住民記録	即時 もしくは 日次	
8	住民記録システム	住民記録	①住基情報の異動に伴う住民 の住基情報(個人番号なし) ②住基情報の異動に伴う住民 の住基情報(個人番号あり) ③抑止設定及び解除した住民 の抑止情報 ④支援措置対象者情報	学齢簿システム	学齢簿	即時 もしくは 日次	
9	就学援助システム (特別支援教育就学奨励費 含む)	就学援助 特別支援教育就学奨 励費	審査情報	学齢簿システム	学齢簿	即時 もしくは 日次	
10	住登外者宛名番号管理機 能	住登外者宛名番号管 理	①住登外者宛名番号 ②住登外者宛名基本情報	学齢簿システム	学齢簿	即時 もしくは 日次	
11	自治体の行政手続のオンラ イン化に係る申請管理シス テム	申請管理	形式審査済みの申請データ	学齢簿システム	学齢簿	即時 もしくは 日次	
12	校務支援システム	校務支援	児童生徒のクラス及び出席番 号情報	学齢簿システム	学齢簿	即時 もしくは 日次	
13	アドレス・ベース・レジストリ	住所辞書	住所(町字)情報	①学齢簿システム ②就学援助システム ③特別支援教育就学奨励 費システム	①学齢簿 ②就学援助 ③特別支援教育就学 奨励費	日次	

【別紙4】主な他システム連携一覧

14	就学援助システム (特別支援教育就学奨励費含む)	就学援助 特別支援教育就学奨励費	銀行振込データとして作成した 支払情報	金融機関	口座振替	月次 および 随時	月次連携: 月1回の定例支払 随時連携: 定例支払日以外の支払
15	就学援助システム (特別支援教育就学奨励費含む)	就学援助 特別支援教育就学奨励費	①住登外者宛名基本情報 ②住登外者宛名番号付番依頼 ③住登外者宛名基本情報照会 ④住登外者宛名基本情報(住民 宛名番号引継ぎ)	住登外者宛名番号管理機能	住登外者宛名番号管理	即時 もしくは 日次	
16	就学援助システム (特別支援教育就学奨励費含む)	就学援助 特別支援教育就学奨励費	①情報照会等に関する各種情報 ②団体内統合宛名番号の付番 に伴う宛名基本情報 ③団体内統合宛名の更新・削除 依頼	団体内統合宛名機能	団体内統合宛名管理	即時 もしくは 日次	
17	就学援助システム (特別支援教育就学奨励費含む)	就学援助 特別支援教育就学奨励費	就学援助受給情報	給食費管理システム	給食費管理	日次	利用しない
18	住民記録システム	住民記録	①住民の住基情報(個人番号なし) ②住民の住基情報(個人番号あり) ③支援措置対象者情報 ④転出証明書情報	就学援助システム (特別支援教育就学奨励費含む)	就学援助 特別支援教育就学奨励費	即時 もしくは 日次	
19	個人住民税システム	個人住民税	①納税義務者情報 ②当初・更正含めた税額決定 に伴う個人住民税課税情報(課 税情報照会・扶養情報照会)	就学援助システム (特別支援教育就学奨励費含む)	就学援助 特別支援教育就学奨励費	即時 もしくは 日次	
20	固定資産税システム	固定資産税	減免有無情報	就学援助システム (特別支援教育就学奨励費含む)	就学援助 特別支援教育就学奨励費	即時 もしくは 日次	

【別紙4】主な他システム連携一覧

21	児童扶養手当システム	児童扶養手当	①最新の児童扶養手当資格情報 ②最新の児童扶養手当世帯判定情報	就学援助システム (特別支援教育就学奨励費含む)	就学援助 特別支援教育就学奨励費	即時 もしくは 日次	
22	生活保護システム	生活保護	①最新の生活保護情報 ②進学準備給付金の情報	就学援助システム (特別支援教育就学奨励費含む)	就学援助 特別支援教育就学奨励費	即時 もしくは 日次	
23	国民健康保険システム	国民健康保険システム	国民健康保険料の減免情報	就学援助システム (特別支援教育就学奨励費含む)	就学援助 特別支援教育就学奨励費	即時 もしくは 日次	
24	国民年金システム	国民年金	国民年金保険料の免除情報	就学援助システム (特別支援教育就学奨励費含む)	就学援助 特別支援教育就学奨励費	即時 もしくは 日次	
25	金融機関	口座振替	銀行振込データとして作成した 支払情報(結果)	就学援助システム (特別支援教育就学奨励費含む)	就学援助 特別支援教育就学奨励費	即時 もしくは 日次	
26	住登外者宛名番号管理機能	住登外者宛名番号管理	①住登外者宛名番号 ②住登外者宛名基本情報	就学援助システム (特別支援教育就学奨励費含む)	就学援助 特別支援教育就学奨励費	即時 もしくは 日次	
27	団体内統合宛名機能	団体内統合宛名管理	情報照会等に関する各種情報	就学援助システム (特別支援教育就学奨励費含む)	就学援助 特別支援教育就学奨励費	即時 もしくは 日次	

【別紙4】主な他システム連携一覧

28	自治体の行政手続のオンライン化に係る申請管理システム	申請管理	①形式審査済みの申請データ ②マイナポータル等により申請された転居予約情報 ③マイナポータル等により申請された転入予約情報	就学援助システム (特別支援教育就学奨励費含む)	就学援助 特別支援教育就学奨励費	即時 もしくは 日次	
----	----------------------------	------	---	-----------------------------	---------------------	------------------	--

【別紙5】重要項目及び補足事項一覧

項番	業務名	重要項目	重要項目及び補足事項
1	就学援助	○	【新システムの導入に伴う審査基準の見直し】 本市では、新システムの導入に伴い、審査基準の改定を行う予定である。 審査基準の改訂にあたっては、令和7年度中に改訂前と改訂後で、利用できる世帯の種類ごと（ひとり親世帯や障害者世帯など）に受給者数や費用等の推移をシミュレーションし、市民等への影響調査を行ったうえで、令和8年度早々に庁内の調整、および市民への周知を行う必要がある。 本業務では、令和7年度中の作業として「検討に必要な新システムの資料の提供」および「検討中に発生した質問事項への回答（書面による依頼）」を実施すること。
2	支援措置対象者の管理	○	現行システムでは、支援措置対象者の情報は、住民記録システムと連携し、取得しているが、独自管理している対象者も存在する。新システム導入後は、原則、住民記録システム（住基者）より連携される情報を自動取込し運用することを想定している。 そのため、データ移行時には、就学系システムとして独自管理している支援措置対象者を「入力されていればメッセージが表示されるメモ機能」など、支援措置対象者情報とは別の項目にもデータセットアップを行い、住民記録システム（住基者）より連携される情報を自動取込することにより、勝手に解除されないよう管理できるようにすること。
3	学齢簿	○	現行システムでは、備考欄に注意事項や市民との折衝記録など、市民対応する上で重要な情報が登録されており、新システムでもこれらの情報を継続的に管理する想定である。なお、現行システムに登録されている備考欄のデータは、一人当たりの履歴データの最大値は約30件、1件あたりの登録文字数の最大値は約10,000字程度登録されている。 そのため、新システムでの備考欄に登録されたい情報の管理方法を整理し、現行システムで管理する備考欄の情報は、すべて移行すること。

【別紙6】現在の処理量

項番	業務名	業務担当課	管理人数／登録件数	集計年度	備考
1	就学（就学援助）	学校保健課	6,800	令和4年度末	登録児童生徒数
2	就学（就学奨励費）	学校保健課	1,634	令和4年度末	在籍児童生徒数
3	学齢簿	学校教育課	58,181	2022/7/21時点	全学齢簿データ （卒業生、無効データ含む）
4					

項目		内容
基本機能		
形式		コンソールタイプ
プリント方式		レーザーゼログラフィー方式
書き込み解像度		2400×2400 dpi
階調/表現色		256階調
ウォームアップ・タイム		300秒以下、主電源が入っている場合は45秒以下（室温23℃）
連続プリント速度	A4	136ページ/分
連続プリント速度	A3	68ページ/分
用紙サイズ	トレイ1、2	定型サイズ：最大 A4、レター、最小 B5
用紙サイズ	トレイ3、4	定型サイズ：最大 SRA3（320×450mm）、12.6×19.2”（320×488mm） 最小 A5 非定型サイズ：140×182mm～330×488mm
用紙サイズ	手差しトレイ	定型サイズ：最大 SRA3（320×450mm）、12.6×19.2”（320×488mm） 最小 郵便はがき（日本郵便製） 非定型サイズ：100×148mm～330×488mm
用紙坪量	トレイ1、2、3、4	52～216g/m ²
用紙坪量	手差しトレイ	52～350g/m ²
給紙方式/給紙容量		4200枚（1200枚+1800枚+600枚×2トレイ）、手差しトレイ：280枚
電源		単相AC200V±10%、15A、50/60Hz共用
最大消費電力		3.0kW スリープモード時：1W、低電力モード時：293W
大きさ		幅840×奥行783×高さ1090mm
設置スペース		幅2574×奥行1870mm
質量		246kg
オプション		
給紙オプション		
用紙サイズ	トレイ6、7	定型サイズ：最大 SRA3（320×450mm）、12.6×19.2”（320×488mm） 最小 郵便はがき（日本郵便製） 非定型サイズ：100×148mm～330×488mm
用紙サイズ	手差しトレイ	非定型サイズ：100×148mm～330×488mm
用紙坪量	トレイ6、7	52～350g/m ²
用紙坪量	手差しトレイ	52～253g/m ²
給紙容量/給紙段数		2300×2トレイ
電源		AC100V±10%、6A、50/60Hz共用
最大消費電力		600W
大きさ		幅988×奥行762×高さ992mm
質量		215kg
大容量スタッカー		
トレイ容量		排出トレイ：500枚、スタックートレイ：5000枚または積載高さ570mm以下
用紙サイズ	排出トレイ	定型サイズ：最大 SRA3（320×450mm）、12.6×19.2”（320×488mm） 最小 郵便はがき（日本郵便製） 非定型サイズ：100×148mm～330×488mm
用紙サイズ	スタックートレイ	定型サイズ：最大 SRA3（320×450mm）、12.6×19.2”（320×488mm） 最小 B5 非定型サイズ：203×182mm～330×488mm
用紙坪量	排出トレイ	52～350g/m ²
用紙坪量	スタックートレイ	52～300g/m ²
電源		AC100V±10%、1.5A、50/60Hz共用
最大消費電力		150W
大きさ		幅800×奥行725×高さ1042mm
質量		155kg
インターフェイスデカーラー		
電源		AC100V±10%、2.5A、50/60Hz共用
最大消費電力		250W
大きさ		幅340×奥行725×高さ992mm
質量		40kg

【別紙9】端末及び周辺機器一覧_ハードウェア

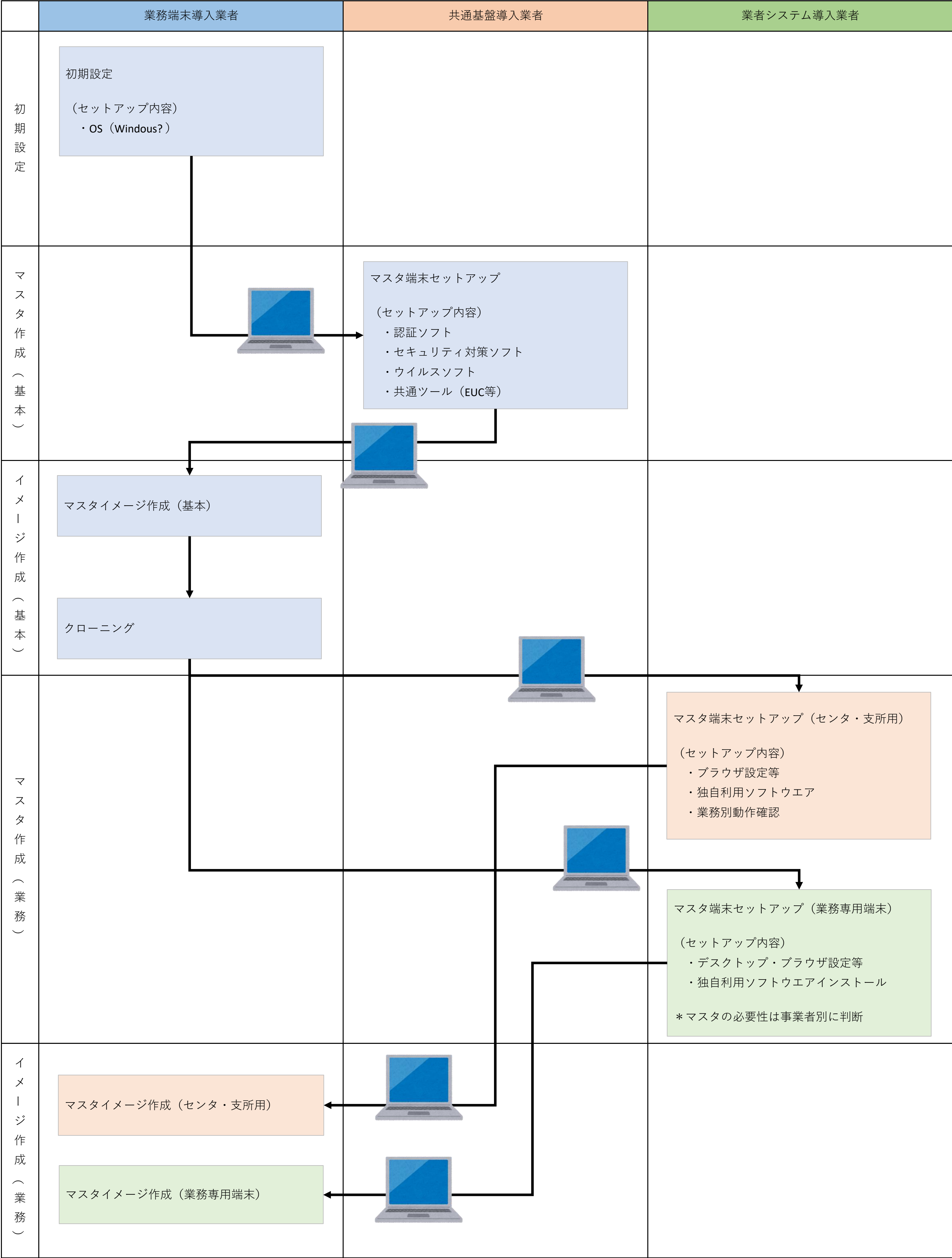
クライアント・プリンタ関連ハードウェア【情報政策課】

No.	対象機器名称	製品名／型番
1	ノートパソコン またはデスクトップ	OS:Windows 11 Pro
		CPU:Intel Core i5 以上
		メモリ:8GB以上
		ディスク:SSD 256GB 以上
2	モノクロレーザプリンタ	A3、A4モノクロ印刷可
		拡張給紙ユニット

【別紙9】端末及び周辺機器一覧_ソフトウェア

クライアント関連ソフトウェア【情報政策課】

No.	対象ソフトウェア	製品名／型番	メーカー名
1	Windows Server2022 クライアントアクセスライセンス	Microsoft Windows Server2022 CAL Government Open License	Microsoft
2	Office2021 Standard Edition	Microsoft Government Open License Office2021	Microsoft



【別紙11】本市の想定する本業務における主な役割分担

	委託者	受託者		その他関係先					
作業内容	久留米市	基幹系業務システム 導入保守業者	運用管理補助業者 (共同利用方式)	端末機器導入 保守業者	久留米市基幹系 ネットワーク 保守業者	ガバメント クラウド 接続サービス (窓口：久留米市)	現行システム 業者	共通機能 導入保守業者	基幹系業務システム 導入保守業者（連携先）
1 システム開発									
1-1 プロジェクト管理									
1-1-1 プロジェクト計画書の作成	■	○							
1-1-2 プロジェクト管理（進捗管理・課題管理・品質管理等）	■	○							
1-1-3 各種会議体の運営（資料作成・議事録作成含む）	■	○							
1-1-4 全体調整・業者間調整	△	○	△	△	△	△	△	△	△
1-2 システム開発									
【基幹系業務システム】									
1-2-1 要件定義（業務運用設計）	■	○							
1-2-3 システムテスト	■	○	△		△	△		△	
1-2-4 運用テスト									
(7) テスト計画書	■	○							
(4) テストシナリオの作成	■	○	△					△	
(7) テスト環境・テストデータの準備	■	○	△					△	
(2) テストの実施（支援には入力補助を含む）	○	△	△					△	
(4) テスト結果の取りまとめ・評価分析	■	○							
1-2-5 本番切替									
(7) 本番切替計画書作成	■	○	△					△	
(4) 切替リハーサル	■	○	△		△	△		△	
(7) 稼働判定	■	○	△					△	
(2) 本番切替作業	■	○	△		△	△		△	
1-3 データ移行									
【基幹系業務システム】									
1-3-1 移行計画書作成	■	○							
1-3-2 現行システムデータの調査	■	○					△	△	△
1-3-3 移行設計	■	○					△	△	△
1-3-4 移行プログラム開発	■	○							
1-3-5 移行データの検証	■	○						△	
1-3-6 リハーサル用セットアップデータの作成及び提供（業務データ分）	■						○		
1-3-7 リハーサル用セットアップデータの作成及び提供（共通データ分）	■							○	
1-3-8 リハーサル用セットアップデータの作成及び提供 （他業務連携データ分）	■	○						△	
1-3-9 移行リハーサル	■	○	△		△	△	△	△	
1-3-10 本番へのセットアップデータの作成及び提供（業務データ分）	■						○		
1-3-11 本番へのセットアップデータの作成及び提供（共通データ分）	■				△	△		○	
1-3-12 本番へのセットアップデータの作成及び提供 （他業務連携データ分）	■							○	
1-3-13 本番移行	■	○	△		△	△	△	△	
1-4 ガバメントクラウド運用管理補助									
1-4-1 各基幹系業務システムに対する調査	■	△	○						△
1-4-2 ネットワーク設定手順書作成	■		○						
1-4-3 ネットワーク設定等	■		○						
1-4-4 マネージドサービス等手順書作成	■		○						
1-4-5 マネージドサービス等設定	■		○						
1-4-6 動作確認等	■		○						
1-4-7 基幹系業務システムへの引渡し	■	△	○						
1-4-8 基幹系業務システム側のミドルウェア等 のインストール・設定構築作業	■	○	△						
1-4-9 動作確認等	■	○	△						
1-5 業務端末等									
【マスタ端末の作成】									
1-5-1 マスタ端末の提供	■			○				△	
1-5-2 手順書作成（基幹系業務システム個別設定）	■	○						△	
1-5-3 マスタ端末作成、検証（基幹系業務システム個別設定）	■	○						△	
【端末設定】（必要な場合のみ）									
1-5-4 端末設定計画作成（スケジュール等）	■	○						△	
1-5-5 展開作業手順書作成、展開作業チェックシート作成	■	○						△	
1-5-6 端末設定のリハーサル	■	○						△	
1-5-7 スケジュールの調整	■	○						△	
1-5-8 端末設定作業（動作確認含む）	■	○						△	
1-6 共通基盤接続									
【説明会】									
1-6-1 各種ガイドラインの配付	■							○	
1-6-2 基幹系業務システム等への説明会	■	参加						○	参加
【接続作業】									
1-6-3 基幹系業務システムの各種機能の接続作業	■	○	△					△	○
1-6-4 基幹系業務システムの各種機能の動作確認作業	■	○	△					△	○
【システム連携機能関連作業】									
1-6-5 基幹系業務システム間の連携項目・連携方法の調整・設計・設定	■	△						○	△
1-6-6 統合データベースの管理項目の調整・設計・設定	■	△						○	△
1-6-7 共通ファイルサーバの調査（フォルダ構成、アクセス権限等） ・設計・設定	■	△						○	△
1-7 その他構築関連作業									
【研修】									
1-7-1 研修計画の作成	■	○						△	○
1-7-2 研修準備及び各種研修関連資料の作成	■	○						△	○
1-7-3 研修の実施	受講	△						△	○
【各種マニュアル】									
1-7-4 各種マニュアルの作成（基幹系業務システム）	■	○							
【その他】									
1-7-5 セキュリティ実施手順書改定	○	△						△	
2 運用保守									
2-1 プロジェクト管理									
2-1-1 プロジェクト計画書の作成	■	○							

【別紙11】本市の想定する本業務における主な役割分担

○：担当 △：支援 ■：承認

		委託者	受託者		その他関係先					
作業内容		久留米市	基幹系業務システム 導入保守業者	運用管理補助業者 (共同利用方式)	端末機器導入 保守業者	久留米市基幹系 ネットワーク 保守業者	ガバメント クラウド 接続サービス (窓口：久留米市)	現行システム 業者	共通機能 導入保守業者	基幹系業務システム 導入保守業者（連携先）
	2-1-2 プロジェクト管理（進捗管理・課題管理・品質管理等）	■	○							
	2-1-3 各種会議体の運営（資料作成・議事録作成含む）	■	○							
	2-1-4 全体調整・業者間調整	△	○	△	△	△	△	△	△	△
2-2	問合せ対応									
	【基幹系業務システム】									
	2-2-1 問合せ窓口の設置	■	○							
	2-2-2 問合せ受付（ヘルプデスク、本市、基幹系業務システム等）		○							
	2-2-3 問合せに対する調査・回答		○	△	△	△	△		△	△
	2-2-4 FAQの作成・更新		○							
	2-2-5 問合せの管理簿の作成		○							
	2-2-6 問合せ状況の報告	■	○							
2-3	定常業務運用									
	【運用監視】									
	2-3-1 サービス等の運用監視		自動運転	自動運転					自動運転	自動運転
	2-3-2 稼働状況の分析・評価		○	○					○	○
	2-3-3 稼働状況の報告	■	○	○					○	○
	【文字管理】									
	2-3-4 外字文字の追加	○								
	2-3-5 文字フォント等の共通基盤への提供		自動運転							自動運転
	2-3-6 各基幹系業務システムへの文字フォント等の配付								自動運転	
	2-3-7 業務端末への文字フォント等の配付								自動運転	
	【大量印刷】									
	2-3-8 印刷スケジュールの確認・調整	○								
	2-3-9 各基幹系業務システムの印刷データの提供		自動運転							自動運転
	2-3-10 印刷指示	○								
	2-3-11 印刷								○ ＊別契約検討中	
	2-3-12 事後処理	○								
	【バックアップ】									
	2-3-13 定期的に所定のフォルダにバックアップデータを取得		自動運転						自動運転	自動運転
【その他】										
2-4	2-3-14 EUCの活用	○								
	作業依頼対応									
	【基幹系業務システム】									
	2-4-1 作業依頼書の作成	○	△							
	2-4-2 作業依頼の受付		○							
	2-4-3 作業計画書の作成	■	○							
	2-4-4 作業の実施		○							
	2-4-5 作業結果の完了報告	■	○							
	2-4-6 作業依頼管理簿の作成		○							
2-4-7 作業依頼の実施状況の報告	■	○								
2-5	運用課題管理・検討作業									
	【基幹系業務システム】									
	2-5-1 課題管理簿の作成		○							
	2-5-2 課題検討	■	○							
	2-5-3 課題検討状況の報告	■	○							
2-6	資産配布作業									
	【基幹系業務システム】（基幹系業務システムが必要とする場合のみ）									
	2-6-1 作業計画書の作成	■	○	△					△	
	2-6-2 配付		○	△					△	
	2-6-3 配付結果の確認		○							
	2-6-4 配付結果の報告	■	○							
	2-6-5 配付管理簿の作成		○							
	2-6-6 配付作業の実施状況の報告	■	○							
2-7	システム稼働状況調査・改善対応									
	【基幹系業務システム】									
	2-7-1 定期的な稼働状況の調査・分析		○	△					△	
	2-7-2 調査・分析結果の報告	■	○							
	2-7-3 改善提案	■	○							
	2-7-4 作業計画の作成	■	○							
	2-7-5 改善作業		○							
	2-7-6 改善結果の報告	■	○							
2-8	障害時対応									
	【基幹系業務システム】									
	2-8-1 障害連絡の受付	△	○	△					△	
	2-8-2 調査		○	△					△	
	2-8-3 障害報告書（第一報）の作成		○							
	2-8-4 障害報告（第一報）	■	○							
	2-8-5 障害対策の実施		○	△					△	
	2-8-6 障害報告（最終報告）の作成		○							
	2-8-7 障害報告（最終報告）	■	○							
	2-8-8 障害管理台帳の作成		○							
2-8-9 障害対応状況の報告	■	○								
2-9	その他運用保守作業									
	【共通基盤】									
	2-9-1 ライブラリ管理	■							○	
	2-9-2 構成管理及び資産管理	■	△						○	△
	2-9-3 各種報告及び報告管理	■							○	
	2-9-4 マスタ端末の最新化	■	△		△				○	△
	2-9-5 セキュリティ管理作業	■							○	
	2-9-6 バージョンアップ作業	■	△						○	△
	2-9-7 サーバ等機器保守作業	■	△						○	△

【別紙11】本市の想定する本業務における主な役割分担

○：担当　△：支援　■：承認

	委託者	受託者		その他関係先					
作業内容	久留米市	基幹系業務システム 導入保守業者	運用管理補助業者 (共同利用方式)	端末機器導入 保守業者	久留米市基幹系 ネットワーク 保守業者	ガバメント クラウド 接続サービス (窓口：久留米市)	現行システム 業者	共通機能 導入保守業者	基幹系業務システム 導入保守業者（連携先）
【基幹系業務システム】									
2-9-8　ライブラリ管理	■	○							
2-9-9　構成管理及び資産管理	■	○							
2-9-10　各種報告及び報告管理	■	○	△					△	
2-9-11　セキュリティ管理作業	■	○							
2-9-12　バージョンアップ作業	■	○	△					△	

本調査範囲

【別紙12】SLA(案)

No.	サービス分類	SLA項目	内容	測定単位	目標値(案)
1	システム、アプリケーションの運用保守	アプリケーション稼働率	実際の稼働時間(※)／(当初予定した稼働時間－正当な理由のある停止時間)×100 ※運用に支障をきたす課題やシステム障害が無い状態での稼働時間とする	稼働率(%)	99.9%以上
2		基準応答時間達成率	基準応答時間内に応答した検索・更新・演算処理数／全検索・更新・演算処理数×100	達成率(%)	95%(基準応答時間2秒)
3		バッチ処理完了時間遵守率	バッチ処理をスケジュールどおりに完了した回数／予定バッチ処理回数×100	遵守率(%)	95%以上
4		帳票デリバリ時間遵守率	帳票をスケジュールどおりデリバリした回数／予定帳票デリバリ回数×100	遵守率(%)	95%以上
5		定時バックアップ率	定時にバックアップが完了した回数／予定バックアップ回数×100	完了率(%)	100%以上
6		障害通知遵守率	障害発生後10分以内に通知した回数／全障害発生件数×100	遵守率(%)	100% (障害発生後10分以内)
7		重大障害件数	障害によりシステムが停止した年間回数(窓口業務対象)	件数	0回／年
8		障害復旧時間	1回の障害発生につきシステムが停止した場合の復旧までの時間	時間	6時間以内
9	ハードウェア保守	障害件数	障害が発生した年間件数	件数	2回／年
10		障害復旧時間遵守率	4時間以内に障害が復旧した回数／全障害発生回数×100	遵守率(%)	95%以上 (4時間以内)
11		調達納期遵守率	標準納入期日までに納入した件数／発注件数×100	遵守率(%)	95%以上
12	ヘルプデスク	電話応答率	取ることができた電話本数／かかってきた電話本数×100	応答率(%)	90%以上
13		電話応答待ち時間(平均)	1回の電話につき電話が鳴ってから応答するまでの待ち時間の平均値	時間(秒)	20秒以内
14		電話保留待ち時間(平均)	1回の電話につき回答を保留されている待ち時間の平均値	時間(秒)	1分以内
15		回答時間(平均)	1回の電話につき回答までにかかった時間の平均値	時間(分)	1時間以内
16		問題解決率	24時間以内に問題が解決できた相談件数／全相談件数×100	問題解決率(%)	95%以上(24時間以内)
17	セキュリティ	ウィルス情報の把握	ウィルス検知後通知されるまでの時間	時間	発生後1時間以内
18		パターンファイルの更新	パターンファイルのリリース後、更新するまでの時間	時間	リリースから24時間以内
19		重大障害の件数	セキュリティ障害によりシステムが停止した年間回数	件数	0回／年
20		障害復旧時間	1回のセキュリティ障害発生につき復旧までの時間	時間	6時間以内
21		障害復旧時間遵守率	4時間以内に障害が復旧した回数／全障害発生回数×100	遵守率(%)	95%以上 (4時間以内)
22	定期報告	報告頻度	SLAに関する本市への1年あたりの報告回数	回/年	12回/年